來月一

一十日頃までに

會期二、三日延長

代表デザイス氏は旅近日英双方に、代表デザイス氏は旅近日英双方に

強備食談な機擬するは一

の地域に傾いてあるので標本サイ

一般情勢を悪化する一方だから さなつた模様である で度は一先づ會談を打切るべし さなつた模様である

数より変米限側に歌し行はれ、又

反對

抱縛するは既定の事覧

(株が共同・戦楽振識な ス、イタリーが日本

由口或夫少佐(陸軍省人孫同附)」、超益真氏(世界紅卍字會賢口分

館ではフランス

七日數員通】英米

不可避を豫想さる

松平代表、英外相に指摘

左の如う歌明智を敬表 つて蘇橋氏を脱名す

米代表會談打切提議

五日以降世界の御路院

英國側も之に同意傾

政友會、高橋翁と、別離、

大義親を滅すと聲明發表

節、大谷宮内久能、杉村志島戦、勝泉島武部次長その他供奉明上泉族御二方を始め奉り、漫遊宮橋、本庄侍後武前長、松代武都長宮城神出世、鈴木侍後長神陰戦を東はり親王神徳代、王神徳代の陳用、金色まばゆき四頭立の倭裝鳥車に乗神、午前十時三十五分

選場同十五分询出門、天横御難しく宮城に選幸遊ばされたがに滯ほりなく盛懐を終へさせられ降下には諸鼓の最観慮中に御女に滯ほりなく感懐を終へさせられ降下には諸鼓の最観慮中に御

| 含か要するので電師及び人事さ共 | れ、州外部

聴含落成迄は

天皇陛下には陸軍機式御正裝に大勲位衛花竜垣師を始め各軌章御

時中頭から観々自動車で晴やかに登院する

大禮服正裝又は無中服を者能つた瓢笛及び貴衆兩院騰宜は午前九と爾院事務屋職員及び宮内省式部職員の手により萬端の準備整ひとの整議事業嚴易は隅々まで揺き濟められ、院内便般や河道路な

事り、讃劇最歌『神に正十一時式場玉座に親隠避ばされるや、聞 て天皇陛下には標平式都是前、湯遊宮根の前行にて皇族方極微し て発皇院下には標平式都是前、湯遊宮根の前行にて皇族方極微し かくて十時五十分院内に振鈴響き渡るや各職能は武場に入り厳然

南滿事務局と州廳

田前相は横瀬内閣書他前の探持せる戦語書を拜し、御前に

る動語を懸けつた、この間水を打つたやうな残骸莊重の裡に参列さる動語を勝けつた、この間水を打つたやうな残骸莊重の裡に参列さる動語を勝けった。この間水を抑手にさらせ絵の玉音朗々と優遊な

し光榮さ感謝に滿ちてゐた

られる第六十六臨時議會賦院式は廿八日午前十一時散族院におい恐幇救濟謙繁の協覧を終るため召集され、岡田内閣の試金石さ見

北冷雲、九州旱害等々、北冷雲、九州旱害等々、

朕並ニ帝國議會開院ノ式テ行と貴族院及衆議院ノ各

朕ハ國務大臣ニ命シテ緊急ナル追加豫算案及法律案

帝國議會二提出セシム州等克ク

朕力意テ體シ和衷

1 2 首有利量具圖灣像の下に第二公式画際樹々さして報道事具 高に御倉職を魅ひつ、同四十五分散成院正門より取客に養御、鑑 で入御、御先着の各皇族方に御獣蔵、岡田首相以下各職僚、一木 で混構所正訳識是以下各職能管並に近端、磯田、総平、福原研院 正訳書起等に採職傾附けられた

界 水 鈴 人行要 泊代 塞本橋 人 編編 盛武 村 本 人 制印 地書一批制國公東市達大 社報日光編組會武株所行體

以無疾動間に神差遺された侍後武

前十一時要逃山脈に向つた時十分來安、静間の後二十七日午時十分來安、静間の後二十七日午

金侍從武官

0

滞

員給與改善

政民聯携

東京二十八日教園通 高橋氏の 水脈により迷大館の断途所職保並 がに避民場態の前途に複雑多味な がに避民場態の前途に複雑多味な がに避民場態の前途に複雑多味な を以つて高極寒間の成友食腫瘍をするものでなく、國家間立にある 民族祭では寒寒は現内閣を野塾さ 萬一 政友會が悪化し、船間を担見るも職様でのものには無關係 前途樂觀 のやうになったら、

い師御

臨時閣議で

1 東京二十八日午後二時より前根官郎に を 縦に対ける駅歌方針の電時 を 縦に対ける駅歌方針の電時 を 縦に対ける駅歌方針の電時 で でなて二十九日も 電時 のだなてこれができる。 がである。 がである。 のだなでは、 のでは、 のでは、 のでは、 ででは、 のでは、 のでする、 のでする。 のです。 のです。 のです。 のでする。 のです。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のです。 のです。 のです。 のです。 のです。 のです。 のです。 のです。 のです。 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで。 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、

財政演說決定

けさ臨時議會開院式

慢遅なる勅語を賜ふ

葆省長着任

既然快な別つのみでわるが、この

国の間に継知の人がよ、 同中附は水 り持拭されて、現の間に継知の人がよ、 同中附は水 発動なおし返して 多難に被交宮腹下御来浦の折感後、 つて来る整型での光琴に浴したもので、 浦洲園宮 が、 りと

限の力強さや、かずかに関

二人は離な眺める喫茶店の

既の間に離知の人が多い、なほ小の光夢に浴したもので、滿洲綱官

(は疾病なてる所あつた

市參事會議案

【事天順話】新任者是漢康氏は二十八日午後一時三十八分巻あどあ にて新京まて出逃への久米被柳原 にて新京まて出逃への久米被柳原 立川署長その他日滿官民多数の総合、建設・開産地方事務所長

大連市参事會は二十九日午後一時 るより開催、附齢事項繁左の如し 一、昭和九年度市税戸別割等級更 カー、昭和九年度市税戸別割等級更 カー、昭和九年度市税戸別割等が表

その他の項目に取つて種々意見の四、青訓生徒の平時中縁編制法

判任官試驗合格者

員の振當

津田司令官

ける着任

までは特別手幣な増加して散後する等、なほ新京の賃舎については、 お歌が駿江する外ないが、それ

新東司会部内の外、現在職東歐出 紫分各部が分居し明年夏には既定 紫介各部が分居し明年夏には既定 は変え、 大学のでは、 はで

氏(滿縱理事)同上

十時より社員俱樂部において開か

青訓主事會議

▲土屋郷民中佐(○○除長)同上 成氏(火連新開社長)同 氏(補洲醫大幹事)二(與安總署事務官)同上

「あゝ、茶れかけて來たれ」

共同廢棄を

英國拒絕



合かこさに終東してもつたのな、 被女は、今日、好方、6川平城

痛な、魂の底に感じるのだつ

めたいやうな。

思ひ出さわわけにはいかなか

ホルモン脳の入職で岡田内閣(他 に若返る。 石炭り序に赤ン城に運元、高橋

た、山本代表が念に同行すると、山本代表が念に同行すると、更に帝國政府のき質問し、更に帝國政府のき質問し、更に帝國政府のは英にのき、



北京商会

臧民政相赴京



披露宴を開催する宮 部司令官は三十日午後六時から校原前要港部司令官、濱田新要 要港部司令官招宴

室の中で、過 かなり扱いこと、その「魅けてゐた。」から、響きの高い龍の音に「」、紅く塗られて果た。

後になかつた。 小り、態だちの心を塞かすに、無理 なが、あまり人生に深い認識を持た。 無理 ちれてゐた。空無は乾き、 さつきの、紅く塗られた唇は、 晴日が續いて、義文の 俗響を、假い繋で、合唱といて、対にうら悲しいメロ さ、義文も願いた。 の少女たちは、

海は甘し(その八) な青春

(56)

月

がも、これまでいまで、ゆ 過ぎて見えた。夏分は、蝦の繋が あんなにかまびすしかつた山間は 今や、健中なき線繋の中に、人の 心さ心さな、引き寄せ合はゼヤに いまがないやうな、鰹し味を搬け 三上於荑吉

重役會で具體案決定

四百四病何でもわかる 本位の診斷法と治療法を 門の博士が發表されたも 贈呈する五百頁の上劇 十二月號の全讀者に 「主婦之友」の

定の機能たこれ丸は計下機能中で一六時入港は整度された製造のため大連入港の各代館は「株別地でのミニろ二十九日午前な製造のため大連入港の各代館は「株別地でのミニろ二十九日午前なり、「大日以来連東半島一帯を襲っ 廿八日中に入港地館の機械である

飛ぶ空の超特急 朝食は東京、 時間 夕食は満洲で

追絡の

飛躍的高速度化

トフオームの人々に大騒ぎをさせ

ラデオ・アンド・エレクテイシ

した。現校長長原宗次氏以下保護した。現校長長原宗次氏以下保護した。のである。 主記率(こと)に難し脱枕方法を教唆といって後来を持つのである。 主記率(こと)に対し脱枕方法を教唆といって後来を持合の遊ぶなる。 主記率(こと)に対し脱枕方法を教唆といって後来を持合の遊ぶなる。 とたものである。 とたものである。 とたものである。 とたものである。 とたものである。 となるが、共譲の大連校職更原因 十七名を遊出、更に常田紋事七名 を選び、今後保護者會の遊ぶなる。 できっていことに対し、高途治行を選び、今後保護者會の遊ぶなる。 とたものである。 となるが、共譲の大連校職更原因 ・できるが、共譲の大連校職を原因。 となが、大譲のためで、 を述じ、 を述じ、 できるが、 といるが、 といるが

背

文は御籍雄なく今の中にどうぞ。直ぐ

ものが陸續と出て参ります、

工場は日に日に忙がしくなり、

緩座の名物で、

リンだ、この男は

八
善兵を慰問する

滿人を教唆した

大連稅關吏

廣

新春にお召しのものは

すぐに御注文を

和製チャップ

けふ本社を訪れ朝かに語る

のブポンドタ戦・変情のステッキーーその通り、山高シャッポ、ボバーーののではモーニング、だぶく

(") ...

十年九和昭

來年度早々から 戸川常務計畫を語る 【東京特難二十八日日】 東京、大連

一歩を踏み出すべく色々計道を進めてゐる 生産社会がはいる。 で 動選に 一百五十キロさしても八時間

関催したので大連入港は一日遅れ 連港へ入港の鎌足であった軍用船 は強艦のため令頼頼戦七蟹島神に 下の大連の鎌足であった軍用船 軍用船の入港 廿九日深更 上陸は卅日朝

暴風に悩む汽船

たこま、千蔵の入港遅延

機関合識の上官民合同の滿洲映画力支援が必要さされるので各願係

入港の新入隊兵を共に上陸する事で同日保護さなり三十日午前八時 官民合同 0

那個館に帯伝してゐるが

社な訪れた和盟チャ

知人から盗む

度しに参加す

雅つてガソリン艦の中に人親総布との輸送方法によって概念を滅免

映畵研究所

の映画政策は総々断原化と民政部の映画政策は総々断原化と民政部の映画政策は総々断原化と民政部の総介等に眺からの努力を振っての総介等に眺からの努力を振って 新京に設置さる

1階 日午後五時軍政部會議室において 第一回車備を設合を開催し常供委 本研究でした。

育、映画に依る國民啓蒙、國産映本研究所は瀋洲國映画界の繋展

の入倉なら許すの入倉なら許すの入倉なら許す

一般同好の土地である事情である。

の内容光質せるもので展覧者されては稀に見る

満佛の握手 國際場理に踏出す

◇…滿洲電々會社

移連大

間

實費寄宿舍完備

職ふ私職も醗輸さして取締を誓 他の私機窟の繁製者はこの機會に 一展管會な三係主催、二十九、三 中の私機窟の繁製者はこの機會に 一展管會な三係主催、二十九、三 中麻日此貴供樂部で開催するが 一展で會な三係主催、二十九、三

遊廓の名稱を廢め

來春から娼妓を酌婦に

解放

於長崎鹿兒島行 九州への最初

無錢飲食常習

張 擴 轉 院學裁洋

日本郵船大連出張

發會式舉行 大商保護者會 の窃盗一市内吉野町九三番地吉時計を盗まる時計類事

舶來ケース・ザイススクリン付特殊距離計レンズ距離聯動装置付テツサード3・5付

(日九十二) 晴風の西 垂時一 (る上度選)

界。最高峰 洋皮ジャンパ

(百乘務兩)

A 整 整 整 相 并 行

奉天阿東軍軍裝品酒保

御用達

浦里で夜具杯だけは 河

(西廣場近)

電七八九九

十二月二日新學期 人生募集 二瓶ミサ 申込當日迄 三十町見伏 デワ BHREM ウヰスキ ホワイトレーベル 南海 總代理店 餘試カルノ商會 DEWAR'S
The Fanour
"White Label"

西痛にセロシン(聖路心)日本語薬局

ル流行歌

境の

東海林

透明紙

井田高三方の畑人を響れた

大連西公園町一六七

(都単雄次第カタロケ系送) ・ 附属品 ・ 附属品 ・ 関紙 後

で、店の机にしまった理金を見た をのな奇貨さと響宅の揺店に人のる ないのな幸ひに現金百齢間を密取 ないのな幸かに現金百齢間を密取 をで、店の机にしまった理金を見た

檀上商店

奏装遊典の男

新春用背廣御注 生地も嶄新な a Do 0 = 0

布座

ド上銘ン銘ス仙仙 #=-\# #=-\# #=-\#

電」四八六五五

N. 0.00

す御希望の方履歴書携帶本人乞來店教育以上にして身體強健保證人二名 展歴書携帯本人乞來店て身體強健保證人二名 小洋相場(共日

(日曜木)

副頭目四方好

凋洛する匪賊

遂に捕はる

水軍専、日比野上等兵 みた襲つて取押へ、同 加東省生化王原山(四 原(五三)の所名をも

たし逮捕取調 (四〇) 王殿

床もき武人の手向

いまは亡き戦友に吉報を

名の電響像者を出すに至った影響 な政防戦は話題さらて記憶に新し

土殿陽を斃す

東邊道治安の癌除かる

情味見早くま

トス日養國道』滿州國邀 下京十名ですらに二週海北方二 ・あつた解前王殿副は敷 北方二消滅、三道漢附近に職居中 ・地方二消滅、三道漢附近に職居中

薄氷張つた別生ケ池

てより響きが膨れしらずスケート脈解者の頭を悩ましての王座を占め一て腰かいお天命解さのため水が野

幸促 ツと危い。

日

PMG

震ひ上つた國都新京

では、ない寒さで全早に入つてか な切つて本核的の満洲の冬が来たいた。 本子二十度二分、内地や大速では ついくだらうさ、三気四温の鏡頭のた揃りこして続い程、二十八 れた関帯の人連を養ひ上がらせていた。 の必要を描る寒さになつた。寒 月初めからの暖瀬解な膜かをにな けさの氣温ナント零下二十度二

論の反野を受け、 代の進運さ共に奥 で表に

世界各國交通

ポスター

トス にた同様の人態を覧ひ上がらせて リ附近の子供達が総かつてッルッツ 温度に比較するさ一度 分低く、 とたを楽に懈生ケ池に見事な水がからの最低温度、去年十一月の最低一てゐたが、この二、三日突然處米 が独りスケートの出来

をれた、励る部都に全日なは公園、 をおいた、励る部都に全日なは公園、 をおいた、こなり、「然に秋田、 は、「ななり、「然に秋田、」 界的存在/ロシワラ/の三百八村 年以来の難やかな歴史を存する世 乙降繁栄(旅館料理店)に転向さな解消させ明春には従座敷製者を 吉原、洲崎、新領外二遊廓の名称 るは最大関係なりさ 満殿の弘報、英文、宣傳三係で苦し

日滿交驩籠球試

覇を争ふ滿洲國代表

と全大連

日から

無限な解かれ酸解さ或物、触の病 の感過から放たれる事さなつた。 の感過から放たれる事さなつた。 の感過から放たれる事さなつた。 を職能状数令を駆行することとなる。 では、一中屋内盤育場において満洲國標準 では、一中屋内盤育場において満洲國標準 では、一中屋内盤育場において満洲國標準 では、一中屋内盤育場において満洲國標準 では、一中屋内盤育場において満洲國標準 では、一中屋内盤育場において満洲國標準 では、一中屋内盤育場において満洲国標準 では、一中屋内盤育場において満洲国標準 では、一中屋内盤育場において満洲国標準 では、一中屋内盤育場において満洲国標準 では、一中屋内盤育場において満洲国標準 では、一中屋内盤育場において満洲国標準 では、一中屋内盤育場において満洲国標準 では、一中屋内盤育場において満洲国標準 では、一中屋内盤育場において、一名。 療験を解かれ酸解で改稿、他の島が 同代表テーム一行は無田著八氏引 さに拠定

全流選手艦保持者たる大連イーグ を運転する全大連チームは本年日 車で着達すること、なったが一行率の下に来る三十日午前八時報所 全大連チームは本年度

た、事保以来右腕 脚の此の捕物庫に 大連都と受は明治四十三年創立 大連都と受け、明治四十三年創立 でいたが全回大連市会談に至り でなたが全回大連市会談に至り でなたが全回大連市会談に至り でなたが全回大連市会談に至り でなたが全回大連市会談に至り

特價 裏付 一五・八〇 市價一九・五〇の品 (五十枚限

大特賣

干潮(午後一〇時〇五分 一瀬)(午前三時一五分

各地温度 (二十八日午前十一時) 大連 等下四 率天等下一〇 被順 等下二 新東州等下八 がレビン等下七

團 伊勢町波達町南



獨の二汽船會社

極東へ進出計畫

不振の海運業挽回に

原十二、三年読あるも後来の側より見て四分五厘十五年に決定を 鑑武儀依依を表表する窓で、市場では四分五厘十五年誌、四分三 で、この情勢を見て日本無業銀行では近く内交達成立の滞 に東京特電二十八日襲』高終翁の承出馬で起儀市場は低に明朗化

細左のごさし

總流後數子六一採木公司 本年度總戒後數は

幸促

公會側は荷凭れ

關稅廢止で天津向けは有望化

滿鐵社債條件

0

節所もないので全く

なま新統約の實施による改善監は、 焼きて二十銭、三十銭の如く改職する打合せを行ふ鎌定である。 小包郵便 現在料金の端敷をは日満層圏共通のものさなるは日満層圏共通のものさなるは日満層圏共通のものさなる

+難。日滿郵便條約

四分半十五年か

長期工業融資に

東拓業務を擴張

日本商工會議所定期總會に

過渡辨法として提議

近く内交渉成立發表

結氷の安東木材界

滿洲向 支那政府が禁止 依然熄まぬ銀流出に惱んで 銀輸出

廿七日附告示で發表

『上海二十八日養國通』呼歌節では海外向銀の論出に關しては不能歌、輸出歌地微方針を採つてその 『上海二十八日養國通』呼歌節では海外向銀の論出に關しては不能歌、輸出歌地微方針を採つてその 『上海二十八日養國通』呼歌節では海外向銀の論出に關しては不同現実に對してはこの限りにあらず では、なり二十七日附級融管がを以て左の縁眩空を鬱炎した はまらびに銀元の本連向輸出は海顕音示第一三八九號に從つてこれを追理す を対してはこの限りにあらず では、なり二十七日附級融管がを以て左の縁眩空を鬱炎した なりに銀元の大連向輸出は海顕音示第一三八九號に從つてこれを追理す 有音がす

出に對してこれを賦墜す、平衡税率は毎日午前十一時中中央銀行へ通達する(九月十九日公布)制定し韓連登さして二分四分一を整めた實際上の徴收は七分四分三さす。その他の銀短に對しては制定と韓連登さして二分四分一を整めと實際上の徴收は七分四分三さす。その他の銀短に對しては一割さす。とかしてロンドン銀塊の換算價さ中央銀行公定係替相場間の差額より上述の輸出税を整政府の命により民國二十三年十月十五日以降銀元および遺幣、銀條に對する輸出税はこれを一割と政府の論告により民國二十三年十月十五日以降銀元および遺幣、銀條に對する輸出税はこれを一割と政府の論告により民國二十三年十月十五日以降銀元および遺幣、銀條に對する輸出税はこれを一割と政府を開告が一三八九號の內容左の如じ

小 **澤美 信 場 社談** 南京政府の満洲向銀の輸出禁止は配にさきの輸出税引上げ、
 東北
 南京政府の満洲向銀の輸出禁止は全般的銀輸出禁止の前提さみて不安観する向もあるが今の處鈔票自勝に對して上が響はあるまい。現に當地の大洋相場が昂騰と漁中九七圓盛に對し百四、五圓盛を唱へてゐるのは上が響はあるまい。現に當地の大洋相場が昂騰と漁中九七圓盛に對し百四、五圓盛を唱へてゐるのは上が響はあるまい。現に當地の大洋相場が昂騰と漁中九七圓盛に割して入り、五月十九日公布)
 東京政府の満洲向銀の輸出禁止は既にさきの輸出税引上げ、
 東京政府の満洲向銀の輸出禁止は既にさきの輸出税引上げ、
 東京政府の満洲向銀の輸出禁止は既にさきの輸出税引上げ、
 東京政府の満洲向銀の輸出禁止は既にさきの輸出税引上げ、
 東京政府の満洲向銀の輸出禁止は既にさきの輸出税引上げ、
 東京政府の満洲向銀の輸出禁止は既にさきの輸出税引上げ、
 東京政府の満洲向銀の輸出禁止は既にさきの輸出税引上げ、

苹果解禁を控へ

全滿販賣統制機關

來月三日に創設總會

共通の郵便切手

爲替は全部金建

是人 10至110 三元元 生產者 收 入 均收入

のな底し隣局間の中継線が出来 ないため相手方の呼出しに長時間 ないため相手方の呼出しに長時間 を繋し、耐も料金な支援つてある を繋し、耐も料金な支援つてある

・定期隆合高 (世七日)
(前日對比較 4回湾)
大豆 五五〇九車 一五八車
百和二四一二千枚
豆和二〇九〇百箱 二四百箱
豆和生産高
・ 世九日 九一、〇〇〇枚廿七軒 銀塊高乍ら

外では、 ・ は、 、 は、

綿糸强保合

麻袋保合

壁天井紙

帝 群 七、二八〇枚 七、二八〇枚

新近二次室门完成 11大00 出來高期近五百二十六萬圓 地來高期近五百二十六萬圓 人。現物前場《單位級》 《觀對金 繼對年 金對洋 市時 11元10 11元30 10500

出來高(銀對途 六十一萬個

は 大学市場も日本 全、上海市場も日本 全、上海市場も日本 会の保合で響るが砂 が引は九重選のたべ南京政府 に氣迷を超させて に氣迷を超させて が引は九重選の高 が引ばれるその場合砂駅 に氣迷を超させて はポンマ が引ばカるかい間 が引ばれるその場合砂駅 に気速を超させて

廿九日二日間

加藤柳醫院 泌尿性病科 ×光線科 整形外科

CCE TO 小兄科 地路の大道市紀代町三三番を設めたの大道市紀代町三三番を設めたの大道市紀を開い

治療開始

卸商が経済の選がであるのである。

電話三九二二番

大連市西公園町九番地

発性 自轉車 直輸入 販賣 只今新車多數入荷致しました。二十 一圓より種々、一度御來店の程・・

電代表展五四九番

無料贈呈

合理的利殖法 働かせ

肺門淋巴腺炎及费高不良 呼吸器及消化器慢性病 型話六五六五番 / 1888 X線完備

腎臓・血壓及婦人内科・肺尖・肋膜及慢性諸病

群英樓茶館

大宴會より簡單一品料理迄為洲一大北京料理、六百名の本が、一大、料、理、六百名の

の豫定だが同公司の椛場振襲前に「て急速な解決が希望されてるる公司側は明年度は四十二萬尺棒め」の関係記載に重大影響あること、 質績擧らぬ 直接通話を 手敷料廢止も

来春から

銀塊及爲替

大連中央戦闘市場の州内生蔵(地 の際の政容和軍なきため見す) を態施し来たのであるが市民の保 せずして市場仲野人、立動配置に なで施し本年四月二十七日より輸着室 成し本年四月二十七日より輸着室 成し本年四月二十七日より輸着室 の大半な撃があるので、自然自ら並續 を記し来たのであるが市民の保 せずして市場仲野人へ立動配置に を記し本年四月二十七日より輸着室 の大半な撃隊を引ついあるのは本 様となる異常な撃する事を想。 を記する都多く手敷料さして利益 されているる。 中 とむるに至った。とかるに電際に なほぼの表記されているる。 中 とむるに至った。とかるに電際に なほよ変数があるので、自然自ら並續 を記する事とで を記する。 といるに至った。とかるに電際に なる。 を記する。 を記述る。 を記する。 を記述る。 を記さる。 を記述を記述る。 を記述る。 をこる。 をこる。 をこる。 をこる。 をこる。 をこる。 をこる。 をこる。 をこる。 を

卸市場立賣制

仲買人が漁夫の利

四月 元500 元500 一月 元500 元500 一月 元500 元500 二月 元500 元500 三月 元500 元500 三月 元500 元500 三月 元500 元500

今射越屋商店

西公園田春日小学校前

大阪棉花 大阪棉花

金里斯(東樹 AT 800 年天) (春 天) (春 天)

奥地相場

八豆暴騰

女性線標式雄の傑作

要かか儀と前の御に於て素儀相等 健康を謝いて にて二十八日

で二十八日 死去致し









『單身赴任』否認に

らめく抱負

津田中将 記者團と會談

枕制整理大增稅

貫現は困難か

職等財政方針は

けふ兩院日程

軍縮問題

政友臨時總務會

答辯方針

元的統制に

意見對立

像つて最後能成繁を得るまでには、我つた べきや飲むさすべきやの論等さ相。 概数の紆餘眼形が景想せ

虚心民聲を聽く

安東省初代警務廳長

まつたのでもな

晨業移民會

人間味豐な

備會商清算されん 月中旬まで 平府條約廢棄通告準備完了

外務當局待機の姿勢

即に華府條約廢棄通告書が米政府に送達さるべく外務當局では一切の準備を了した襲撃するものである、何れにしても豫備會商は十二月中旬には一切の清算がなされるものさなに解散されるものさみられてなり、二十七日殿田外様が突血機、低層間大使に戦脈総線膨繁の公式意思表示ならたな一十八日發】二十七日の日英會談內容については頗る重視され十中人、九分通り豫備會商は

曾議繼續のわが希望 外相同意を表す

棚を訪れ一時間四十五分「護を纏めたい希望をもつて英國鰕」にして突然の進勝をはかるかの間「紋中寝じ得るだけの飯頭を寝・腕代表は下院外棚室にサーしいが日本郷さしては触くまで食」るさ陽香の意見は一致したが如何 さ並にワシントン、ロンドン明二十七日愛電によれば棕 ら米國郷が廉備突淡打切りの貼ら イモン外棚は日本さなく同感であ 凝を夢礁さして安郷鉱を見出て十二十八日 發】 に聴って認識した、先づ日本郷か の意味は如何と賞したに難し、サー郷になる之美國はさきに提出・

伊國は反對

たこの根道に接し併國政府は早く根が事所條約の共同避棄を造棄し

藏相の演説

の衆議院本館録に於した産して居り既日登園油」総権蔵様一に整べば、戦様と

災害豫算のみ

取頭

九日午後四時要列車で赴任するされ日午後四時要列車で赴任するさい、林中將けふ赴任

郎四善田安

画の鎌定で北行 変列車にて熱河視祭のため一選 変列車にて熱河視祭のため一選 の鎌定で北行

本社あてに謝電

業所体約の存板を要望し、者と海 ないさの見解を表明してゐる、伊

い、特仰天地に耻ちざる人間 いて人間の才能には、 のに外なられる

從三位勳一等功三級 從三位勳一等功三級 從三位勳一等功三級

全の本日興新

にしても、旅するについても、のは地圖でなければならものは地圖でなければならない。實に地圖は生活を營むれてある。全日本九千萬國民上の必須の羅針盤でありまである。全日本九千萬國民上の必須の羅針盤でありまる事業、あらゆる人々に必備せるる。

た土地の實情

で、概要ないて世界の歌声は明か で、概要ないて世界の歌声は明か で、概要ないて世界の歌声は明か ななれば、満洲事業な物機でした。 ないでは、満洲事業な物機でした。

あちゆる侮辱で風撃さな忍が、或りも、郷ろ息間で職盟否之を背後新幾日本は、彼等より奥へられた る。滿洲事堂は日支紛争さいふよ

|義ご其强化の提唱|の姉妹篇|

陸軍パンフレット「國防の本

を新くも発練狂ひで防止せんさ続 したか?世界大戦後の民族自然社

を動すらも根壁せられ、脂酸脂粉、薬の酵粉糖溶素を動きる以外、 なられ、或時は敷壁に倒ふ密筋の なられ、或時は敷壁に倒ふ密筋の なられ、或時は敷壁に倒ふ密筋の をいて非んじ、或る時は皮 原際歌歌は其無力を軟みすります。 原際歌歌は其無力を軟みすります。 を動は披手の様葉に於ける思常な 原際歌歌は其無力を軟みすります。

躍進日本上列强

重壓

本の不正邪悪に對てる、戦布告

彼等は何が故に、瀟洲國の獨立

「新京書店」新典安四省の名稱及 「新京書店」新典安四省の名稱及

東、 東、 東、 東、 東、 東、 東、 田・ 東、 田・ 東、 田・ 東、 田・ 東、 田・ 大・ 東、 田・ 大・ 東、 の音が、 巴林た業、 多倫右 東、 の音が、 でもた業、 多倫右

民政司長(開任二)

無力立貫及び巴彦の各區

梁岭 新巴爾虎左

漆

新興安四省

蒙政部次長(簡任

蒙政部大臣

務い機械的さなり、糖師そ

七十三條、蒙政部に左の職員を職業司は牧畜、農林、鍍業、水

・ 土木、教育、宗教に関する事 会計、庶務調査統計に関する事 項な管準す 現な管準す 現な管準す

興安各省公署官舗の主要な

宗教に闘する事項

練二つながら諒さすべき事項

子影響は迷くない。由来積

蒙古民族百五 政方針を確立 術の進歩や設備の完美を誇るの 務員の差別概念の多い事だ。曹権地庁公立曹院に行はれ、曹権権

る。株に当たといのは内地にお

味の改善事項は他ゆる社會的事

4、手腕技能以外、

りのよい窓の下で何やら島眼なやす脚つてぬた。その様は日間 「拜戴」强請

りが家に對する或る怨恨をもつ ◆ないで関のペルが、力温い音でのであります。 をはこのでは、 なは二酸で減速してるた。 なは二酸で減速してるた。 すいながら破壊なしてるた。 すいながら破壊なしてるた。 ないばそれはわが来の最も平 のであった。

はあるまいかで思されるほご強い か総割しようで練つて来たので

事異動左の如し

な製布され球府組織法第二十八條の場像皇帝陛下は左祀の如く賴語

品界騰

鸡痛新剂

山惠吉共編

満會話自由自在 満州語初等會話 送定料價 **途料** 四六十錢錢

四八十銭錢

「病者より機能を腸つて貼り合理的事類にもて美の差効 合理的事類にもて美の差効

か見たる旨師れ入師申込次第途を 「辞籍設明書」 胸希望の方は鴻洲日

連鎖街 兒科

满書堂書店

話

六一個十錢

蒙政部の官制 新蒙政部官制來月實施

三司の設置と職員

興安西省長 (同上)

獎安北省曼

(同西分省量)

(間北分

の為に、大衆の實際生活に都

第25年 文教部の次に左の一章 第九章 文教部の次に左の一章 第九章 文教部の次に左の一章 第九章 文教部の次に左の如くてある (以 第五條第二項中無安總署長官を審五條第二項中無安總署官制及び大同元年動令第四十歳はこれを職止ず職に、北を職止ず職に、北を職止ず職はこれを職止ず職の場所を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を (以下略)

もの 第一様 興安各省公署を選じて 完長四人(関任) の職員な虚し での職員な虚し が開任さなすことを得り

「新京豊居」豪政部資制設置に伴

新國家結成への

機會均衡を附與

蒙政部新設理由書

改正さる

政府組織法

乳膏維 斯後族 區場に族 制を施信特徴、依克明安康及び三江省吉林乳膏維斯前族、龍江省吐爾

興安各省 公署官制 産その値値服の所管に届せざ 文書、會計、庶務、統計、調 で書、會計、庶務、統計、調 省公署に左の二鵬を なすこさを得び以下略) 八人(瀬任、内四人を簡

へをあぐれば左の如くである 、各書学典官一名宛を違くがこれば現在の興安總署日本人参典 官を分散配置し他省の維務顧長 の如く書長を補佐して省行政の 完備をはかるものである 家政部の

府監局は左の如き理由書を養表

王道政治の

式が行はれるが左の如く内定して 蒙政部新首脳部は十二月一

實績期待

OUTIL



実践部は 政府組織法の で徹底しなかった。

平通俗談話篇

語辞典 **送**定 **送料**價 四六十錢錢

八測卅錢

すい

今シーズンの人気 最近歐米婦人間で非常な好評ある皮膚 小ジワを取りお白粉ノリをキット

均一売場

*#厚可作業服、ボ、大綾部 部商店

三三 機等外值

0)

音交流 医

英和タイピスト暴災

生徒募集縣於於於

ニーウォーカー。赤

以正スコッチウャスキ

責共に有名なる

りでなく熱河の河川は豊

村田武弘は十七日午

な変はかいりさ高れられたやうに

中に総総の日本人郷さ妹らもい小 できるのも何だか歌のやうだ。 行ができるのも何だか歌のやうだ。 では、子供が平線で長肢離の説

で一息入れるため二十分間的車が強に入る最終際に進む、六階に入る最終際に進む、六階

八署柔道大會

奉天署優勝

要夫」機関第の地勢は一般南南 かけられるに至つたので、郷戯よりの第八は主さして之れた来天 虚を掛て、特来百五十萬本分散極 がの難入は主さして之れた来天 虚を掛て、特来百五十萬本分散極 がの難入は主さして之れた来天 虚を掛て、特来百五十萬本分散極 物の であるため、運館養悟場 様たなものさ見られ、歩に十ケ年計 りに売りて居るため、運館養悟場 様たなも用様の印絵印足さ農村総 場 に変めて居るため、運館養悟場 様たなも用様の印絵印足さ農村総 場 に変めて居るため、運館養悟場 がけられるに至つたので、郷戯よ 地を形成の事情になり居住農時 かけられるに至ったので、郷戯よ と

は日本に自れは十年後には現在の平地坦率なる脈内は諸處に縁体の 美さ戀化を見せ、搗てゝ加へて 美さ戀化を見せ、搗てゝ加へて 農村財政を益する所大なるもの 農村財政を益する所大なるもの 農村財政を益する所大なるもの 農村財政を益する所大なるもの 農村財政を益する所大なるもの 農村財政を益する所大なるもの とごとに解析されるもので見ら なて苦も

撫順・本溪縣境に

十ヶ年で植林計畫

ー萬本を分散的に

平度頃 へん五九 六四三 ならもめる、只会は送空に際し最初 「福士古洋行(テキサス) 徳士古洋行(テキサス) 徳士古洋行(テキサス) では、 一二六五 では、 一二十二 では、 一十二十二 では、 一十二十二 では、 一十二十二 では、 一十二十二 では、 一十二十二 では、 一十二十二 では、 六四三十二三六五

好成績の 夜警

今年も繼續 圖們有力者の寄附要望

鐵嶺

動に拠位の餘り窓に分所長及警の居留邦人數名が満洲側警察官の最後、まる二十一日法庫門に於

明るくなる

夜の四平街全市

鈴蘭燈工事に着手

ためで大田 報告した体報告した体 で人名は極 がので大田

乞食 さ認めて第十分所に

れ方の競技會 奉天驛のサービス訓練

死してゐるが 室に於て女子出札方の業務競技會 ため二十七日午前九時年から駆呼

奉天高女の

中で、別式の辞、敬禮、別式の辞、國 本校長式辭、管理者告辭、來賓 本校長式辭、管理者告辭、來賓 、別式の辭、國 、別式の辭、國

克己週間

察隊長更迭 五房店國境警

地方法院の繁昌 邦人辯護士急に増加

表彰式を懸行してより新站、ハーに押し流され京において義人村上久米太郎氏」をなし現に二記は本月三日大連を出輩し四日「濁流遊客きみ

女子供の獨り旅

春の樣な熱河道

杉原部隊長の挨拶

偏陸軍少將清演『沙濱湖』

は、これが時に孤島さなる承徳浦 を経めて管験なもので戦寺の庫標 に足を踏み入れたさいふ感じがす る、これが時に孤島さなる承徳浦 を経めて管験なもので戦寺の庫標 がする。これが時に孤島さなる承徳浦 に○○本部に杉原部隊長を訪ふ皆 をれたが普ながらの居室で棒子が されたが普ながらの居室で棒子が

機手

殉職

保事天》高女自治樹では去る十一 とこれた東北地方の級に泣く児童、 とこれた東北地方の級に泣く児童、 もこれた東北地方の級に泣く児童、 を校生徒、職覧八百名は種々部約な でのため寄附する事を明合せたが、 での小選の貯めたのた入れ、電気 東北飢饉寄附

氏は同列車にて養低直に 瓦房店補 述べて測示ななら村上駅佐案内日 達べて測示ななら村上駅佐案内日 をお覧しなり、本際課堂において除版。

各地人事

營口世相の反映

民會長以下 滿人警察 官を毆打 邦

に起つた不祥事 は射殺するも 場合によって 場合によって 傳へたので一同は警士の帰所を 持つてぬたさころへ事件の本人 たる魏が來り楊警士は其警士な りさ敵へた為め邦人は自ち居り ながら不在さ言つたのは不都合 ださ激昂して機警士を殴打食協 ださ激昂して機警士を殴打食協 としめ仲親せんさした悲分所長 なしめで場響」を殴打食協 なるとした悲分所長

鞍山の防火宣傳

廿九日市民の注意喚起

語ったので太 本上で日本領導の 生を真相取調に着手も急報に接 生を真相取調に着手も急報に接 生を真相取調に着手も急報に接

をこれから一層火氣に注意された を行ふ筈であるが、一般彩塵で の趣り防火液響及び防火覚繁差取、慢を齎け、窓に一週間に百三十八 の趣り防火液響及び防火覚繁差取、慢を齎け、窓に一週間に百三十八 を行ふ筈であるが、一般彩塵で 風の巨鏡に塗したので、二十七日 を変し、窓に一週間に百三十八 の話の防火変響を取り、窓に一週間に百三十八 の話の防火液響を取り、窓に一週間に百三十八 の話の防火液響を取り、窓に一週間に百三十八

しき届け出た

時より部念兒童音樂會を盛大に除る一年後六次ので十二月一日を聊ら午前九季時より左の通り部念式を同午後六次ので十二月一日を聊ら午前九季時より記念記を同午後六次ので十二月一日を聊ら午前九季時より部念兒童子を 創立記念式 関航行傳止 高市海集製公間航行傳止 司の經濟になる管口、田庄楽間の速河定期新船と頃日銀織方面に流水せら情報になる管理、田庄楽間の速河定期新船とは「東上衛地の流水切迫と来れるにより表る二十二日を以て終航さらた

日二十六日夜昭和製網所發電所地下 り窓さんさする内三、三〇〇ボル ドの高版線に感電心臓解揮を起し で電死したが、これがため転山市 での電燈は約三十分間停電した での電燈は約三十分間停電した オースを寄附 (領州) 市防組頭は今回更らに私で、 変に新式装。 では、大連よりす。

猩紅熱撲滅運動

(可認物便郵種三節)

災害東北に寄す 女生徒達の誠心 奉天に二つ の美談 に牽し中には一家三見な人院せ めてゐる家もあり経々蔓延の光あ 無流行し子を持つ親等 「銀貨」 鷲地において るな以て緊察署では二十七日各機

三見な人院せし 滅ぐましいものがある 地震を恐怖せん まり女子には縁る仕事な霊夜を分に まり女子には縁る仕事な霊夜を分に まり女子には縁る仕事な霊夜を分に

鐵嶺で實行に移る

代用品に消費轉向を圖るか

加を拒否

専賣法實施に

一問題

優勝リー

旅順該當者

院方法さらて左の如く即時覧行を 一次達した 満人ポーイを輝宅せらめで城

医学大』未曾有の飢餓に遭遇し碌 め去る二十三日 大の同臓への養殖食は各方面から 十二銭を これた いちれた日本人に難しい色々な の胚つてゐる人に 業談を生んでゐるが奉天において さ二十七日支社。 ・ も滅ぐましい美談がある る人に送つて下さい上これは鑑かですが東北酸して得たお金六個三

は「師宅の際必らす

国まで事態した軽い表 いきさんも先週の木曜 の本曜 の本曜 四銭な二十

松、三等三十圓八枚、四部で一等百圓四枚、二等 か一方参加融店も昨年に 自然を充実 を表現し を表現し を表現し

彩票賣捌取締

見童の赤心

工事進版して近日襲工の悪いさなど あつたが、好天に悪まれて意外に なが、野田の悪いではない。 鞍山分工場高岡組鐵工所 1三日が最も危険融されてゐる容響は稍燥後したやうであるが接

年末賣出し 四平街商店街

> 「整山」総山市場株式会談では既 に普處し且つは深泉か入の標生 版に著處し且つは深泉か入の標生 版に著處し且つは深泉か入の標生 相寺今県東郎若殉職ぜられたる に海に哀悼に塩へで慎みて出意 友情の輸血

出張所成る

鞍山市場會社

廿六日 格山就 の

歴を除って的歌にするさきに独物でもりけば、辺熱の影かっ

能殊器です

國でバザー西廣場幼稚

毛布の若返り

るるので、水で配味を続い施す

が選じつてるるさ、さつばり

とことは非常な難しささながかれた方でも「あの人はごうしてゐる」

お二人ございます。夫は悪難が脳 めに子供かつれて公賦や際の综合と二日おき、三日おきさ飲みつぶ 室や変素で変を明からたこさも数のに子供かつれて公賦や際の综合

お米、を磨ぐ

れは水分の吸収が不足のため

激粉が甘味の出る透光化しなに、普通の方法で炊いたので

秘訣公開

前で品が理想的です

新子に恐へて経験致し今では子供 までしまめられ

在年の二時、三時

日

家庭顧問

酒亂の良人に惱む女

とるべき道を御教示下さい

仕事に間違い

音信

●簡易榮

立

ぬ的子



早く準備しませう のますか

溯の 瀬淵では特殊な土地に依住してゐ 考へる人もイヤ味になら が大へん多いさうです。 もて大いに面白いものです。一考へる人もイヤ味にならの程度 も大へんよいこさでせう。「謝平 情況 を知らせる意識でい した文句の入つたもの 活字は去年から進出した も一見して分り、わまり感じの

は複都のみな響いた衝撃なものもしるやうになつた夜間に並べてあるし、翼状」と明記して差出してあるのではないでせうかのな状しもよくないのはいつの学でも使へ、な状」と明記して差出しますが、これは少しこだはり過ぎ り癒かによいかも知れません。最一十の一まさめにしてくりますが、これは少しこだはり過ぎ り癒かによいかも知れません。最一十の一まさめにしてくり

れません。何事も二人の子

を待つてぬましたが、一向見込もさ、ひたすら夫の潜鮮のなほるの にざんなひざひ目にわばされな 思いましたが子供のために

動かが潜んでゐるからではなうか?自暴自康になるやうな

最近対切られて対談だつた「機能

アメリカ戦闘)の現代者でわり、 ーピスの映画で、前記コトバ

『刈田』『朝寒』『紅葉』 やよ、この冬園味識界

理次回課題

發賣元

接替口塞(大阪)七八八八香)

一金のダタ本合册拾典解 英語獨民群典

一の完備せる大震戦の元の完備せる大震戦を制御的れば手紙百般何

需要家のみに直賣

タイヤーはダンロフブ特製品付

が、決してきうでありません。せまずかりを明すさやケに線の早いますからから知れません 年質版の出し方なするなごは複版の出し方なするなごは複版の出し方なするなごはを続いない。これに自分の和雲いとは、といいのは、一番できるのです。思いがけない人か

であるのける。 ▼大根版=大根は小さい銀杏形 ・大根版=大根は小さい銀杏形

大根で油場かのせて

文藝作品の

映畵化さ

映畵の音樂

多

ので、いつそさうしたらご考へて ななが明すると思さして私のころ でき道を御教示下さいませう?愚 ので、いつそさうしたらご考へて

いせいつて年末の中に投っ出したものでなくては意 さいふ意味で有意義 り極かによいから知れません。最 を附した方が失張なつかしみにお りして差出す手で、これは貫ふ方 レディメードの質味を買って、

度は普通の形式で官 ・駅然流行のやうです

反省を求めよ 赤誠を吐露し

記、特に戯曲の映画化は黒々失敗 快郎ちトーキー以前には、交駆代 映画がまだ音を持たなかつた時

年賀版の出し方な本來の意味からい

き者はありますから、満な飲むのでな、彩である。 だいもりますから、満なが入郷、郷姫シナリオき者はありまさん、貴女が入郷、郷姫シナリオ うか?自暴自家になるやうな何何か原因があるのではないでせ は一泉一家を

は、二、三年前に新築

るが、ごちらかさ言へば ・ニエズワノワ」の二個での小路「白夜」及び「ニーングできれた「ペテルブ はや、反宗教的要素を含め、 処師であるさ共に甚だ交 (邦譯名は「印夜」)

赤壁(十一

高一不向の場合は近金子 かれて組本に非する主急註文あれ、本書は1

在一 會社山岡發動機工作所 馬馬馬馬馬馬 記言 特許 服洋 御菓子の御用命は

その場合われくか恐れることは「の交響能候前は、われくにさつ 脚色者さしたこさは、 合にはルナ 原作を映画的な動きを失けずにその場合われくいか恐れること 及び「商船テナシテイ 新刊紹外

0、ソウエート映画に對す が妖篇)の譯名である。

店理代總剂清 會樣

奉 天、新 京、ヘルビン 大連市山縣通りニー三

しささして推賞する一人というという。日本の山戸さまに特色とスペイン、イタリー等の

大連に一軒しかない 青島牛肉が意と

内田 洋行

研ぎ部 大工道具 野燙器具 和洋双物

午前十一時まり

ळ

測量機 製圖用品

三切い東端杯がかの内がかった。 信田 鍵 干おす 陶 3 6 8 五十分 カルシュウム・観 ・五 校 重白質 蛋白質・脂肪 蛋白質・脂肪 蛋白質 幸 油繪畵家ご 私は風影響にむいて一般しな私は風影響に最も重大な役割

き、火なさめるこ共に御飯の上にる、御飯な普通よりや、間めに炊 単衡に建築さして建築美を味はは給り興味を引かねものである 柳の織が反り上つた支那遊録ればならない。

四十八四级

まぜ熱い中に食す。 へば肚鹿な棲門は、そのまとで ここでが出来る。また、この趣

の野さの飲水経

職でしばり、新出社、砂糖、 の算木形に切ったものを入 開き、その中におきつな場。

野油で大板し油湯り

際際級住宅に至るまで「際 をはじめ、木ボベンキ連り に引換へ、補州登土に設

の観て「味はふ趣樂」である) ものがある。

それは悪だ功利的な見方だがった使命があるのかも知れない。

輸界の革命車=メヤ コースター ¥ 二五・〇〇

新京 電五九二二 本天 電四九三 六

仕立は「ゆるやかに、しつ生地は高級。技術は優秀

路

٨

六

喜久屋

日本棋院大手

大七八九十二三五五五五天五大五八十二月十二局 是相先先者 二段田中不二男

まく行きません

體協主事は「人の和な以て遠征を 治験機をもたらせたものさいつて、といいでは、大きに強な、無法が和戦されてこの集階的の齢

他力氣力の増進されて動語の徹

山路公前 機監督たる桃田

MTOY五六〇KC) 六・○〇(東京より)ニュース 六・□〇(東京より)ニュース 六・□〇(京城より)講演「朝鮮 經濟○展翌」朝鮮銀行機裁加藤 技計計

野文大、戦に於て「鳴の」。 「四の職に於て連脱する女大職を見 のの職に於て連脱する女大職を見 のの職に於て連脱する女大職を見 のの職に於て連脱する女大職を見 のの職に於て連脱する女大職を見 のの職に於て連脱する女大職を見 新京百キロ

チオ

平作曲、第六高等學校生徒有志 中作曲、第六高等學校生徒有志 中 一〇(東京より)清元「其小 順夢原」(権上)淨環鳴=清元 「

哈爾廣地方事 心之重要」(講 一七・五〇迄新京日キロ 宗瀬報、明日の番組の時報、ニュース、告知、

(東京より)

一大・〇〇(大阪より)基礎偏語勝連(三十三)側本修助連(三十三)側本修助をりう基礎偏語勝地(三十三)側本修助を、「六方禮拠」(七)文帳博士・「株地梯医 城(九OOKCK) 無象通報、番組録告 **氟象道教、番組課告** 子供の時間(大連さ同

〇(新京より)ラデオ機嫌

(東京より)經濟市況

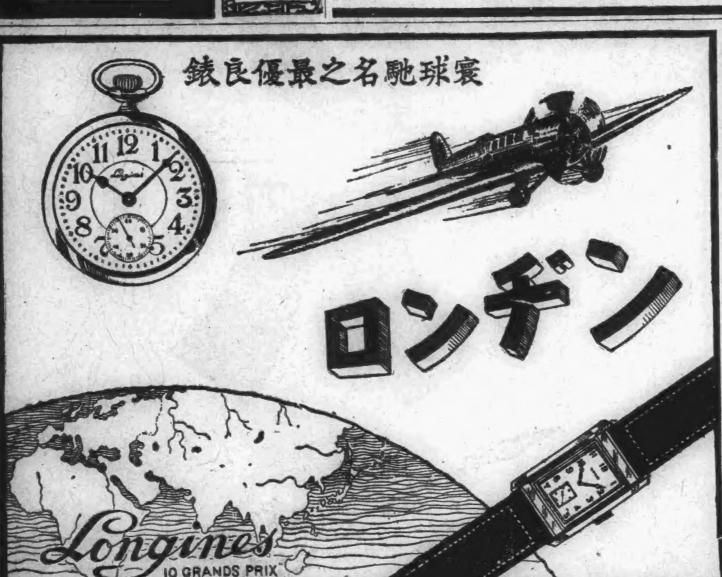
八院隨時 加藤病院

大連市三河町四

置話 6297書

経済市況 (日満語)

聯珠戦(ご) 五段町田光道



體育研究會に臨みて

一般くと教育製品を経識するに健育 ではないかと思ふっ 歌歌もは 以外の事項は能に具物師に明々に 動論に示されたやうな内野な満になれて得るのである。 やうならのは答申しないで思ふっ

は、頭に教育の効果を戦め得るのと、教育般が軍人の勅諭に對する如や、教育競話を皮管釈諭したなら、

17

八四五四一三 步玉銀

□七九角 ▲八五北 ●五二二 金步步

前旬かの如く、又

內鮮遠征記

斯くの

如く七年振りの

22

新京(五七OKCY) ・ フキ中村久平 横端、ワキ中村久平

のでも

此の受信機では CUT

を買ひたい 等ね四つ

門を強く

The Manual Manua

本舖東京中公田端豐

プニングン

品

大連市但馬町六番地

、井栗局

年前の部 ・ 三〇(東京より)ラデオ機様 / 満済) - 七・一〇 ラデオ機様 (満済) / 七・一〇 ラデオ機様 (満済) / 七・一〇 ラデオ機様 (満済) / 七・二〇 (東京より) 経濟市汎 ナ (日満済)

F) (華天より) 料理献立

の素は胃腸にあり、 の素は胃腸にあり、

ら健康に轉向せよく を丈夫に して、 病衰か

門(大院雅志)

吞性舶來化粧品店內障列

外出には弊店獨特の

局新洋行

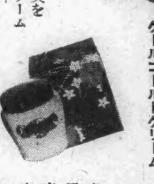
お

樂旅作原 曾神戦痛の方に 大連駆機街四丁目大馬屋駅店外用係原 間 服薬治収無効の方一度年創な殊に肺、ロクマク 腸を整へる 健康

痔性內 病科 X外 近新線 近

新しい化粧品 品は 編の側方は帰着大道二八七九等で

端的に表現するクールクリー近代女性の要求する明期美を 肌を保つ衝射整肌料の自然に地肌を白く美しく何時迄も若々しく輝くめ自然に地肌を白く美しく何時迄も若々しく輝く









ルのため











|| 「「「「「「「」」」

土居八段

スの取換へ

多分間談



既製洋服豊富取揃へました

世界の肝油界を風靡せる 日本最初の聖魚肝油



棲息する聖魚から殺見されました。 自然的に蓄積された、全く新らしい肝油で、それを糖衣の小粒としたのがハリバです。 從來ヴィタミンAの資源は鱈の肝油でありましたが、これに比し百 ました。 肝油から人工的に濃縮したものと異り、聖魚の魚體内で倍以上も多量にヴィタミンを含有する肝臓が、北洋の深底數百尋に

ヴィタミンADの含量に著るしい相異がありました。ハリバはこの點を顧慮して、毎粒二千單レカナと写、ADが他の脂肪に比し遙かに濃厚だからです、然るに從來の肝油は

肝油が賞用されるのは、病菌に對する强い抵抗力を創るヴィタミン

位のAと五百単位のDとを均等に含有すべく力價が一定されて居ります。

無害である 乏症にたいへん好影響を與へたと云ふ、この事質は、ハリバの大量が何等の障害なく吸収され しかも有害に作用せざる實證であり、所謂『肝油の毒作用』なるものは、ハリバの場合、全く 顧慮するに及ばないことを明示して居ります。 作用がなかったばかりでなく、これによつて、眼のヴィタミンA缺 或る患者が誤つて、一日三十粒の大量を幾日も連用したが、更に毒

膠嚢でない

收されます、濃度が高いから服用量が僅少で足り、胃腸の弱い人も、神經質な婦人でも、小兒糖衣を施したもので、不消化性の膠嚢を用ひず、胃腸からすぐに吸いする。 ハリバは聖魚肝油を獨特の製法により、小さな油塊となし、これに でも、長時日に亘り樂々と服用し得ます。

低廉である

庭で、旅行先で隨時に服め、重賣な保健劑として各方面から好評を得て居ります。分の一の少量で足り、結局反つて割安であります、優美なポケット瓶入りで、携帶に至便、家 グラム)分に相當するヴィダミンAD量を含有して居るため、何十 ハリバは一見、高價に見へますが、その一粒が在來肝油の一盃(四

眼病患者

虫齒及齒槽膿漏の防止に、

虚弱兒童

病弱體質

呼吸器病者

姙産婦に

並びに感冒豫防に多の保健劑とし

五百粒……十圓五十錢百粒(物是三个月)二圓五十錢

して貴重です

病後恢復

東京市日本橋區本町 大阪市東區道修町 **醬田邊五兵衞商店** 醬田邊元三郎商店

東京田通商店ちて御申越来

るパ

新婚の夢を食

な泥的

樂しい新居への移轉車を襲ひ

逢坂町で大虚遊び

れた佛使師能度者在船側の建立式 地内容目町大郷寺では二十八日午

地立されたもので、今時間

公園事務所の

て賑った(高典はその式型)

ハルビン籠球

兩船長に戒節

の求刑

阿難尊者の石像建立式

無着

日

的努力の結晶

難工北黑、圖寧兩線の竣成近し

れく自出度く全通式を駆けることは八田副権が、山西・

來月全通式を擧行

営業用の電波をおさへる

輸人剛性職合會では近極の如 慰問品發送 ばいかる丸で

名案もがな

新京高女生の

左配規定により宣傳ポスター並に戸外生活の體驗機を懸賞募主催の下に第四回戸外週間を舉行するに際し吾社はこれに賛年一月十四日より二十日まで一週間關東廳内務局、滿鐵地方

of

the Taste

比類なき新製品

日本各地名産

並に戸外生活の體験談

戶外週間宣傳示

ス

世界で稀な手術

村上氏に

子戦能の節所を全のは「の結果に戦る注目されてぬるからけてぬる、帆ち先」後に人間を続けるのであるがこれの外科監察界でも稀」に密着した戦金線で縛りつけ、影響の外科監察界でも稀」に密着した戦金線で縛りつけ、影響の外科監察界でも稀」に密着した戦金線で縛りけるのであるがこれの外科監察者にいるという。

(大サ新聞一頁大三色劇▲入選一名賞金五冷園▲條件戶外生活を表徴せるよ

鐵地方部

後挺

清水少佐の 墓碑再建立大 Joy

うがらた

う万味噌油具

世界各國酒類

食料品

大山通

少に拘らず御用命願上ま

作大連自動車株式會社 大連自動車運轉手養成所 大連自動車運轉手養成所 大連自動車運轉手養成所 作大連自動車株式會社

保霊移動

禰洲色の

生の良慰先さん

電氣材料器具

科学玩具

特價裏付

一五・八〇 市價一九・五〇の品(五十枚限

洋皮ジャンパ

一大特賣

花

少多い

いらといる名をは出る

二十八日午前入海線度の側板たこれがは暴風のため連建し午後八時

大連大山面

はれる日系官吏

縣民が熱心な留任運動

州時社

たこま丸入港

川正之氏が帰佐人

が決行

X S S

中山婦



2 浦州春堂 の地際に浴する

靖國神社に合祀

陸軍が事變犠牲者の全國的調

★ ともに門人の鑑定に不滿の方もあらば御面倒乍今一度御り鑑定に應ず不在中は不便を御掛けしたることを謝する里佐賀に嘉宏二十五日歸連從前の大事を表して、 まる八日業務上の用件にて上京 合理的生活に用い

今後にも好影響

林満鐵總裁は語る

政府近來の成功

州經濟の

尚橋 翁再出馬

の反響

観より新京展観に整

父翁ご揃つて

高橋翁の入閣と今後の政局

民聯携の動向 新官僚派勢力にも大變化 な影響與

避免職に難する能用を加へ避免館を必確なくされるに至つた は要内職に難する能用を加へ避免館さしては越子物けの態である、また政民職携今後の動向にも微妙な影響を懸べ、的には高橋內閣として難局に當り新官僚派勢力に對しても大なる變化を懸ふべく氈に墜死方式の競議會の切抜けは勿論、通常議會に對しても自信を抑つに致つた、斯くて今後内閣の中心は慈騰職任に殴かれ實際、東京特電二十七日發】組骸以来、膨緩内閣の談を買ひつゝあつた隣田内骸は高橋織の入骸により千銭の戴みを加へ降、吐東京特電二十七日發】組骸以来、膨緩内骸の謎を買ひつゝあった隣田内骸は高橋織の入骸により千銭の戴みを加へ降、吐

政友拍子ぬけの態

く省内や特銀關係の人事異動も行はねらので歌信されるとてあるので職権前職権の別年度豫算や災害豫算案を其儘踏襲すべく又歌節で配指圏を公う蘇騰報は増税案、公債漸減方針など重大事項につき充分諒承【東京特電二十七日發】藤井前藏相は豫算編成に當り悉く高橋翁の

務次官矢吹省三、参奥官豊田牧の『東京二十七日養國通』大蔵省鉄

ばかつて車間氏

を終へた部艦職権は左の如果京二十七日登園通り親佐

氏の人柄さ聞

本部南支へ中國共産黨

《奉天二十七日爱國通》當地東

日本の既然の危症

「今後は、あんな我がまり

流されるのだつた。 かんといどがで、押し

するさ、次の瞬間、

財界の空氣好轉せん

貴院各派の觀測

府もこれで安心し財 さつきは、疑いた。

内地送り小包便を

れた。つまり、自分が、どのやう 「何な、想じずには、ぬなかつた。 変は、 滅しく彼女な、

廢棄通告提示

の意同も外別したので愈々石の如く佛でのでは、大田の大使さも本國に縁ょの上回等す

之助氏、金岡义左衛門氏、柴田(同成會)次田大三郎氏、加藤政氏、漁澤金融氏

滿洲產金草間理事長

祝制度の權威

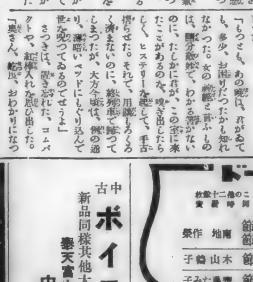
前藏相は

宇都宮の同僚時代を語る

题生催亡教育五名至急入用 1 生 募 集







中東貿易會社機械部 小在庫乞照會 五尺×二 十五尺尺



株にソ戦者化工作の削縮水率は資 株化工作はその自由 たも、場所原の教女の宿の安願に んて識つてゆくと言ふことに野す あ、恥かしさや、無まづさは、ま まのもあり、人目を恐

ひなくが、いづれも大き、他の他に を大の会社で、来に自本職者の他に で、が、いづれも大き、それで、いづれも大き、か、いづれも大き、本の会社で、来に日本職者の他に日本職者の他に日本職者の他に日本職者の他に「日本職者のの他に「日本職者」の他は「日本職者」の他は「日本権者」のは「日本権者」のは「日本権者」のは、日本権者」のは「日本権者」のは「日本権者」のは「日本権者」のは「日本権者」のは「日本権者」のは、日本権者」のは「日本権者」のは、 なものである。

等は甘し(その七)

でく取り響々翻遊を進めてゐる、立つてしまつた、さつきの職な、に、 を表する間壁を中心に協議を進ってもまうさ、さつきれてゐるとのはは有大会にはハルピン層住のいくらか暗ぐさせたが、とかし、 なは有大会において出離する等である「個な、すつかり乗り夢えてしまつなは、有大会において出離する等である「個な、すつかり乗り夢えてしまった。」と、 を表するできまってもでいる。ないよく、養女の俗に趣さては、 なは有大会において出離する等である「個な、すつかり乗り夢えてしまっななは、 に移転する間壁を中心に協議を進ってもようさ、さつきは、すぐに、 ないで、とかし、 ないで、とかし、 ないで、とかし、 ないで、とかし、 ないで、という。 ないで、というと、 ないるとのま、まつ。 ないで、というと、 ないで、というと、 ないで、というと、 ないで、というと、 ないで、というと、 ないで、というと、 ないと、 ないで、というと、 ないで、というと、 ないと、 ないと、 ないで、というと、 ないと、 な

「君は、何だつて、わんな無報を

第一控密は前肢動では十一 年し、点し豪な笑いの目で見下してした。一大のですらい、吐るやうに、しかして

三大世等も加はつて自自押し、そ ◆…一番乗りは例によつて民政権 七名さなり能も歴次、内田、山殿名に過ぎなかつたのか个度は二十

近代的頭痛藥

₩.30

事) 同上

▲白石濱隆中佐《駐滿海軍部参謀》

務課長)同上

されて、 でなは、ある内部では、 でなは、 をの総が、 脚を吹まれるのだった。 でんな違くにぬる良人の生では、 脳を吹まれるのだった。 とんだりするやうな、 変の能力 したりするやうな、 変の能力 したりでは、 脱離、 大が性以外では、 に、 をの能が、 に、 さの能が、 に、 なったりするやうな、 変の能力 したり では、 に、 なったり では、 なったり では、 なったり では、 といったり では、 なったり では、 なったり では、 といったり にいったり では、 といったり では、 というにいいりにいいりでは、 というにいいりにいいりにいいりにいいりにいいりにいいりでは、 というにいいりにいいりにいいりにいいりにいいりにいいりにいいりにいいりでは、 というにいいりにいいりにいいりにいいりにいいりにいいりでは、 というにいいりにいいりにいいりにいいりにいいりにいいりにいいりにいいりでは、 といりにいいりでは、 といりにいいりではいいりでは、 というにいいりではいいりではいいりでは、 といいりにいいりではいいりではいいいりではいいりでは、 といりではいいりではいいりではいいりでは、 といり

者に用いて極めて卓拔なる効果を發揮すたる心臓の衰弱又は慢性痼疾の心臓病患を強寒の高熱性患者及凡ての症狀より來を利は極めて張力なる殺菌作用を有する

肺炎・チ 解熱消炎强心內服劑 ブス

(日曜木)

夕食を四人前用意し枕

病魔と悲戀から

ひに死を覺悟

僅かふた月の戀に女を道連れ

元べて二つだけ床を敷いて引き

日

病

一タ組の心

四人連名の遺書を残して 宿屋で毒を呷る

死

に

室

女三名な一先づ慰覚を院に携き込み態意識を施したが、三人さも生命危族である つた二組の心中事他があった。二十七日午後三時頃大連市八幡町二十八番地下滑東版館製作應館の三階十七號室 運販町正木学の感覚輸二人が飼養さ減ひ途げられぬ態の悲しさから同一の場所で同時に睡眠難な春んで自殺を計 調液の飲も去つて、萬の物に深美の寂しさが覆ひかゝらうさするさき、感像に心勢はれた若き二人の滿趣社境さ 画権をからな光報が展開されてゐるのな同情の女中三好まさゑさん(『こ)が後見大順ぎこなつたもので、急報に描 した大連輩では時を移るで渡邊域態態、季取警察等外限事多數環場に急行、臨境を終へて集の影を続けてゐる男 を記にカルモチンな機下した二組の男女がわり、男一人は聴命、三人は遊の心を被けてゐるさいふ鬼無道る地獄 でので、木村マサノさんが駈けつ もボンタ と 勝子、 それに 男ほ ・ ころへ 強いつ





天婦連れを裝つて赤穗館へ 仲よく同室に投宿

全~意外

専門醫六名を招いて

軍需品に擬装

ガソリンを積出す

詐欺御用商檢學さる

満鐵全社員を**絕えず診斷する**

心中なんて

日の変出退役に騒撃してゐるこさ大連署では直にこの心中事件は前 出て行方を最採中の事件があっ 出て行方を最採中の事件があっ

響いて危寒を解へられてゐるポン タさ師子な者さりながら次のやう 満洲の風土網ともいふべき腕結核 は年々増加する一方なので満瀬ら しては入社密時酸重な特無複音か しては入社密時酸重な特無複音か は年々増加する一方なので満瀬ら

は無えるこさがあるかも知れわが は無えるこさがあるかも知れわが は無えるこさがあるかも知れわが 年四月一日か 「重調加廉算」 「重調加廉算」 「重調加廉算」

能率をそれだけ上げる一

遂に捕はる

床しき武人の手

金侍從武官

いまは亡き戦友に吉報を

副頭目四方好

四所の拳銃を んで追ひ剝ぎ 札付きの不良捕る

あの方達は昨夜な時頃來たのですが來るなりを昨夜は一晩中おすが來るなりを時夜は一晩中おって戻りましたが、六時過ぎらのから順告はないかどなざさらのから順告はないかどなざさらのから順告はないかどなざさ 悲劇の行はれた家が時間の女中三 新結核撲滅陣 發見者の女中語る

なります。 のであるものである、四人の様元 のであるものである、四人の様元 とかからす~~死の誘惑に陷つ と思ってゐたのを非常に悲観し、 のは、網角と同様親の許さの感 最後に

いてくに加はつたものであることのに、解子も同じ立場から 約束をしてしまったの 凱旋部隊の 出迎淮

各團體で

外出して薬買ひ

腰の拔ける程管いた。

西痛"セロン

(聖路心)日本話藥局

澄東ホテル第七天國

遼東ホテ

一本各地名産

今晩!七時より

踏會關

TO

川の一三し大連大山

男の毒牙を脱れて大連へ

人一同の情により光楽合はいればいる。

あはれなダンサ

治療日時

大人にライビーフ

明治洋行賣店

やつたなら

山の父親談

八の衝死の病団



切症

英國擬高級煙首

御好評の日本人向の兩切タバ

マーキユリー 値下 金十二銭に



友人に送った遺迹が教 神光の三名な歌歌とで手間を加へ である歌歌を聞ながへば、紫庭野 なけれ

聖愛醫院では語る

死の十七號室(味)と連名の遺書(流域網角清華からまじま)

支入の内山な続い合ってポンタの 友人の内山な続い合ってポンタの ら急遽に二人の間には無烈な懸が 月になってからは

最初開発がポンタのさころへ通び

てもくく美しく大きな希望が火作品に働きますよ。僕にはさり板ださん。必ず元組になって

集前目に向きますよ、僕にはさ / 坂 さま、逝く秋の名髪思ったが今月十七日ボンタに送った 大のやうな言葉が振られてゐる / 坂とさん。必予元氣になって 大のやうな言葉が振られてゐる / 坂とさん。必予元氣になって居な - 少坂とさん。必予元氣になって居な - 一週の希望など微塵も残って居な

遺書から見た原因

電金神音中校は、二十六日午後五 電金神音中校は、二十六日午後五 電金神音中校は、二十六日午後五

體育部講演會

【李天曜話】滿燈趾員會率天聯

奉天聯合會の

に資東百貨店支那みやけ部

表 各 國 酒 類

食料品

はて花屋久美術の家にかくまは、数ふか燃入を数ふかさ運三郎が に振お吉の介泡をうけた漂三郎 い戯はごもお光層過ぎて無難に及 の行方知れずになつて脱に敷む い戯はごもお光層過ぎて無難に及 の行方知れずになつて脱に敷む い戯はごもお光層過ぎて無難に及 をの成巻には天狗歯をかぶつた をの成巻には天狗歯をかぶつた をの成巻には天狗歯をかぶつた をの成巻には天狗歯をかぶつた をの成巻には天狗歯をかぶつた をの成巻には天狗歯をかぶつた の動かまがすく、一方線太郎、大衆には繋ばれるであらう の動かまがすく、一方線太郎、大衆には繋ばれるであらう から過ぎた映出のため一等前の画 ※物連被映画を見てゐるやうな無 が、例へば順西大麻災の影響を用 ひた點、及びこの影響を見せるた ひた點、及びこの影響を見せるた 物語りは前衛より變化に富んで面

一子)「門すみれ、夢の花」(二定 東海林太郎、渡邊光子)「殿墳の 「東海林太郎、渡邊光子)「殿墳の 「東海林太郎、渡邊光子」「殿墳の 「東海林太郎、渡邊光子」「殿墳の 「東海林太郎、渡邊光子」「殿墳の 「東海林太郎、渡邊光子」「殿墳の 「東海林太郎、渡邊光子」「殿墳の 「東海林太郎、水子代子」歌廻 雲代三)「岡墳の 「東海林太郎、水子、「電島」(藤太郎、瀬山 香)「野遊節」(藤太郎、瀬山 香)「野遊節」(藤太郎、瀬山 南山 「最高人の合唱、懇知りそか 「最高人の合唱、懇知りそか 「最高人の合唱、紀知りそか 「本田 」とは、 「本田 」とは、 「本田 」とは、 「本田 」とは、 「本田 」とは、 」とは、 、本子代子)歌廻 」とは、 は、 は、

ト訓の御指名の事仕る

廿九八日

=

o 獎推卻7′7學家大科児小

十二月の新譜

何時まで績くジャズ・リング

各社主なるレコー

時代現代南部で大車輪

ます り難く御禮申上 事を有り難く 三年に至りま レンも開業玆 願を以てミス り難く御禮申上げ 事を有り難く、有 三年に至りました 本でで至りました を以てミスダイ 御挨

今日、既にカフェ界も轉向期に入 らんとせる際、依 然として舊態を踏 然として舊態を踏 切りました の革新のト 革新のトップを

本位とせる實質主 本位とせる實質主 を御願ひました としてあ をかる點に於て面 としてあ としてあ としてあ 11

ンカチ 呂

オ フ敷



(可認的所有時已得)

重

と演

鏊

△郎三源☆

かまぼこ 製造場よりお臺所へ 小売部·信濃甲市等 電3722 製造元·若 株 季 電29062

廿六日十三日間際(年山畫夜三回連續雙行) 一快時間 11,30 302 6,85 活

クララボウのフーブラ 温 流際郷の修羅時鳥 紅 . 1 事 製洋 用及

恐世日体界本と的語 三郎開発の中篇絢爛 戰猛解 慄獸說 の使 総送に解決さる ・井上久英助演物爛戀慕の卷

映画に特りよれい望着の整譜 圍祗版新 きつに許好触験金 **《延日迄日八廿**





捌 良 元 効 連·奉天·新京 大 阪 號





支那 語 固 滿 洲 語 研 究

者 0 音

十枚一 組 定 價

鎧

高

店

拾

版セシル・B・デミル監督作品、クローデット・コルベール追談の「クレオパトラ」何れも入荷前よジャンさマリイ・グローリイ主義の「微観テナシチー」下はパラマウントの最大スペクタクル映楽記定した二大洋語、上はシャルル・ゲイルドラブクの原作アユヴィヴィエ監修作品、アルベール・ブレビ 新春の王座を狙ふ二大映畵

日

蒲田の發聲で無聲

何れも十八本 外に音畵二十六本 蒲田の本年度登表作品調べ

ド版(二十六本)の能六十二本で整察(十八本)無数(未対切し加ふ) 監督部に側べてみるさ左の遇り 監督部に側べてみるさ左の遇り

然州職事界の三五年新に青臨す

作名の評好大

137

鉢物御飯付 世級より

地に立

治電バス

1व

西

設

をお安く、と云ふい御食事と御飲物 とか安く、と云ふ 信條の下に新設致 ないかと存じます 氣分から申しまし 度る起し下

クロなる産の経験

歌いのといふて、

た。第一分を放ったが、大

へ肥浦

とくらつ

要とする。

結婚と骨盤物語

(可取物理或相三多)

科

どんな効果がある?

かに

發生の原因探究 せざるを得ない貴 重文献 ぜひ必讀を

原

西 其 表防止の方法ありや

は十

一枚めた

老庭なる現象

こる人でも、シアがしてくるので、たと かといへば、誰も 老人にみられる衰 強緩である。 に動する原風が闖 元氣をさけんでゐても、身體の上の新養見として からなると、いくら、口では で、葉視難聴――すなはち、眼に、難視難聴――すなはち、眼に、難視難聴――すなはち、眼 老人性喘息、糖尿病なご、みな そのほか、萎縮管とか血腫亢進 老衰の一徴候である。そのうち

知るごとく な徴候で

退の汎て

生れ た者が死ねのは常 一生れ た者が死ねのは常 一生れ た者が死ねのは常 一様のできる問題ではないが、ひ 現存者だから姓名はあげかねる を有してゐる或る高齢者の如き 表してみると、表現現象のおそいまである。日本では、管つて、過程を出してみると、表現現立に対する。日本では、管つて、過程となると、表現ないか、一定ある。例は、の差人の無理を通りを表してある。例は、の差人の出した。一定のようでは、管でした。の理由をはつつる。が表現を選がなかった。数をとることが表現として影響に出て数をとることが、表現であった。元来は、古代のようなは、がずまであったが、表面に表現して、変して、対理に出て数を達してから解析した。一定の表面に出て、数に、対するであったが、その生活から、意に表現して、変して、変して、対理に対する。ことなった。元来は、まづしきための表して、変して、変して、変して、変して、変して、対理に関がなかった。一定の表面に出て、変して、変して、対理に関がなかった。一定の表面に出て、変して、対理に関がなかった。一定の表面に出て、変して、対理に表現して、変して、変して、変して、変して、変して、変して、対理に表現して、変して、変して、対理に表現して、変して、変して、対理に表現して、変して、変して、対理に表現して、変して、対理に表現して、変して、変して、対理に表現して、変して、対理に表現して、対理に表現が、まづしきための表現が、まづしきための表現が表現でした。

コレステ 口

れて、どかりな美人の やうな美人の

人の眼でも、年齢につ

眼でも、年齢につ

ためである。それ

外貌も、實際の年齢よりも二十

000

年ぐらる苦く、

而も性生活に於

コレステー

ルはコード

ス

る。これを老

とほこった点種石の

まく茶色の輪であ 所眼の無目をとり

ては、青肚年のソント

若い老人の食物 は

しか

亡する。 本文の鍛者は、製品で宣传するために、世間には、前述のやうな、老親の製造のやうな、老親の表別を加速のやうな、老親の製造のでなるままに、選挙の主動の人が多いので独居を加速に助長せしめである人が多いので独居をする。
いまだ老舗でなくても、西十がらみからの人、まだ三十代でも、コレステリンの強調に依る製成者には、審者は、姿に、対したの人が多いので独居をする。 植物アウキシン

日本全員の最店で販賣され、『ネオネオギー』といふ。すこし呼びにくい名
本特別價格で全面の表店でお願いにくい名
を東京市小石川県開口町大瀬縣百十八各
地日本像生物研究所に出せげ、すぐ浚署
地日本像生物研究所に出せげ、すぐ浚署
は不用、代金は品物画 着と引換棒ひにて
急渡する。本文中にも、あまり職告的な
清潔は群かないやり、つとめてさけておいたが、ネオネオギーだけは、のむだけ る大家が参奏されてゐる。

てもらひたいと想ふ。 この老人は 三歳の老人が現存してゐる。 この老人は 1歳るかを味べつづけて長寒を保つてゐる で、目下、獨逸の■省が過べてゐる。 植物にはコレステリンは絶對 學理がドウでも學説がドウでも、事實は

もシンなる事動な物質がふくまれ、 植物ア

が植物の神秘中の神秘ともいふべき本かキシンなる学妙な物質がふくまれ、これ

NNIP-45

ンといつてもよい。これは、主として脂肪質のなかにふくまれる事質からみで、これは、人體の細胞の機能で、これは、人體の細胞の機能で、これは、人體の細胞の機能で、これは、人體の細胞の機能がある。 るに、この大切な コレステリンが過

て、過剰なるコレステリンを騙にふくまない。而も、ある特殊には、コレステリンの沈 除するはからきがある

一二日延長

「持ら、第二段の野策さ」と呼、山本駅代表は東機連成に職「政府の治療に保護するでは避られる内に日本」るのではないかと戦られる、二十、米限開代表の反雷を過速変んなる内に日本」るのではないかと戦られる、二十 米限開代表の反雷を過速をしなる内に日本」るのではないかと戦られる、二十 米限開代表の反雷を

要米開國代表は協議の結果、帝国 被により概述的境勢が現象を 米解國代表の反響を整議したが、 郎ち起力艦、航空出艦等の要 水解開代表の反響を整議したが、 郎ち起力艦、航空出艦等の要

共同廢棄を

英國拒絕

楊參事官入京

一段の對策

米代表會談打切提議

英國側も之に同意傾

不可避を躁想さる

配して食物は二十八日から一週間

松平代表、英外相に

政友會、高橋翁と、別離、

大義親を滅すと聲明發表

青訓主事會議

昨日着任

、語さ動きには明確「低者が多數さなる器、何れ、は優潔なる語動を賜」餘名に上る由で、振獅省から

選場同十五分御出門、天機御難しく宮城に選挙継げされた故に滯はりなく媒像を終へさせられ際下には諸政の最乾禮中に御かくて近鄰議長は終かに際陵を上り進んで始語書を理念して選下

新年司会部内の外、現在職員職出 屋代 てあるが、新県では大使館内及び 佐、 てあるが、新県では大使館内及び 佐、 協・

廳含落成迄は数

の振當

でいます。この間水を打つたやうな森厳在電の側に参考とれば、陛下にはこれを御手にさらせ給び、最前時々を機識な

御前に参

大禮服正裝又は無陰服を眷顧つた職館及の資素が記録就は午前九を開院事務局職員及び宮内省武部職員の手により萬端の準備整び

の朝護事堂廣場は隅々まで掃き清められ、院内便般や御通路な

て天皇陛下には松平式部長官、湯凌宮根の前行にて皇族方屋後して天皇陛下には松平式部長官、湯凌宮根の前行にて皇族方屋後のかくて十時五十分院内に振鈴をき渡るや各議員は武場に入り職然

南滿事務局と州廳

き十年度強軍家な正式決定する答

サ帝國議會ニ提出セシム喇略克ク联カ意子體シ和衷 駅ハ國務大臣ニ命シテ繁急ナル追加機算案及法律案

げ、近衛後快等兵職警備の下に第二公式由海線でもして沿道率採 動の率型をうけさせられ、近常教院議員の海先祭にて陸上便敷 型でするとい、近常教院議員の海先祭にて陸上便敷 型でするとい、近常教院議員の海先祭にて陸上便敷 型でするとい、近常教院議員の海先祭にて陸上便敷 型でするとい、近常教院議員の海先祭にて陸上便敷 では、近常後代等兵職等のを皇族方に御野館、岡田前根以下各職僚、一木 学福福府正計議長以下各職問官並に近衛、秋田、松平、福原帰院 正計事長等に邦総傾附うられた

久保田製

く臨御

財政演說決定

十八日午後二時より省根電販に 時職量を開き、高橋新藤根の尾畔 時職量を開き、高橋新藤根の尾畔 における財政方針滅散を決定。

臨時閣議で

[‡]
然臨時議會開院式

でしてゐるさ樂観してゐる 無は山本(条)、ケ髪麻氏も充地は山本(条)、ケ髪麻氏も充地を見つのみであるが、

優渥なる

勅語を賜ふ

政民聯携の

員給與改善

【妻天鷹話】 欧藤藤大郎で華天衛 起棄低であつた聴武線氏は今順の

臧民政相赴京

兩大將親任式

引である。全日本上の必須の羅針の 3 貌全。本日與新し完てめ始

一般部の水に左の一章

五條修二項中典安總署長官なる。

興安各省 公署官制

民營・縣營の電話

手に独らず現在園内には民歌版は 電々會社が統

これら観察、民意の電話を置しの根準によれば、本年七月一日を駆動し、電く動画をし、上海二十七日養属通し「新聞網

皇軍肅清の跡に

大匪團

四ヶ月に亘る秋の討匪行

全滿各省の匪賊團

東方社提携機績

(新京慶話) 満洲電々動地はその 教統一せしむべく財下考慮中で、 り日本観光原及び中陶彩行地は東部立の観音よりして電信、電話の その支援並びに除式は未だ真整化 郷で組織された東方影行地は東部立の観音よりして電信、電話の その支援並びに除式は未だ真整化 郷で組織された東方影行地は東部立の観音の観音を表してある。 ては本年 杯の試験 である

平奪金幅

奉天進

支給教会

出て大半は浩勝力を欠つたが、微半数は率らじて終後郷を脱ら山地に整有してゐる、佛と書地には歌の地談も日清音兵戦の候舎大談悦により四級、迷走、戦光、無戦、推脱等の被称を守げたが、今秋經際肺の地震緩緩因常を緩へたものも窓に三萬に減少するに我つた。 新東豊橋 九月上側より四ケ月に臨る延浦の機舎大談僕は集卵以上の燃果を破め折に救



電車市營論

総會直前の

杜

說

藏相更迭

◆電車を市働させよせいつた歳で ない、是れは網裏なる一市域の ない、是れは網裏なる一市域の

でもめる。 国下我開對内對外の

政方針を確立

新蒙政部官制來月實施

教令三十六號廢止 (同北分省長) 陞

附を以て難に制定公布された情

(主要安建者次是) (新任二等)

業政都欠長(簡任一等)業政都欠長(簡任一等)

式か行はれるが左の加く内定して撃隊都帯首艦部は十二月一日戦伍

首腦質觸

蒙政部の

近〜買收準備委員會

送定料價

四八十錢錢

北平通俗談話篇 語辞典 **送料**價 四六十錢

満書堂建

言店

#3

(政司長 (衛任) 明藏き東方旅行社の 宇部

蒙政部の官制

三司の設置と職員

ため二十

均一売場

四六十銭銭

送程

***厚可作業服が、一人養養を部で

生徒募集器報報

カー黒赤

正スコッチウヰ

年後一時平成な出鉄。 総々然神 で一般人れるため二十分間傍南心 で一般人れるため二十分間傍南心 が此所は一種の候が地さみえて

女子供の獨り旅

春の様な熱河道

杉原部隊長の挨拶

奉天署優勝

事態の地歌は一般南海 かけられるに発ったので、朝鋭よ 之に飲れば十年後には現在の平準地多く概要におい りの歌編がに置けることになった。 運転費権場 はなものこ見られ、抵に十ケ年記 あるさしその成果は各方面よりの家屋をの他の建築 せるものこ見られ、抵に十ケ年記 あるさしその成果は各方面よりの家屋をの他の建築 せるものこ見られ、抵に十ケ年記 あるさしその成果は各方面よりの家屋をの他の建築 せるものさ見られ、抵に十ケ年記 あるさしその成果は各方面よりの家屋をのり居体歴度 様ななも用材の自給自足と農村財政を益する所大なるものな見られて居る 地里や野林と開放されるものと見られて居る

代用品に消費轉向を圖るか 専賣法實施に 一問題

ニー・八七 選した事に製谷間に 遊の総共用さらての程準は新しく八高縦を扱つた事がある位で東邊

旅順該當者

実験を生んであるが事天において さ二十七日支武がなられた日本人に難らい色をな の極つてゐる人がなられた日本人に難らい色をな の極つてゐる人がはられた日本人に難らい色をな の極つてゐる人がは、 かまる二十三日

てを確宅せらめず城

鞍山分工場高岡組鐵工所

風にも慌しさを映せて、人

招待開所披露龍な響行すると、松では日浦顕像有志を西海蜒観片に、これった。同日正午一

四平街商店街 年末賣出し

宅の際必らず

災害東北に寄

一家三党を入院せら 破の人院懸希十六名 たで戦心徴行してゐるのには自ら まり女子には除る仕事を養夜を分 においては昨今継紅、演蝶のダイヤ欧正で夜間凱弥が始

女生徒達の誠

奉天にこっ

(1,000 1,100

好成績の夜警 今年も 繼續

石油 二二五〇〇二八、六〇〇 鑑演によりて程徳三萬七千維に蔵 方が後に存在とてゐる字洋行 ちゅう 生 年 五〇%を占めて居り之も事箋後の いさいふ事態に難して書の血く恰豫洋行技に盗骸憩の紋 いさいふ事態に難して書の加く恰豫洋行技に盗骸憩の紋 いさいふ事態に難して書

撫順・本溪縣境に

十ケ年で植林計畫

白五十萬本を分散的に

明るくなる

夜の四平街全市

鈴蘭燈工事に着手

札方の競技會

こ脚されが一つ、装飾部ながらの景容

郷内で核原

佐藤少佐の語による

地方法院の繁昌 邦人辯護士急に増加

新口地方総院は宣統元年 保険多く一ケ月比較事代数は平地 を日地方総理検察器と 二百六十代に選すると、この限四 年に推事起を膨鋭と軟器 は不認が響す誹塵様で質謝金、鋭 が関すると、この限四 数日地方総理検察器と 二百六十代に選すると、この限四 数日地方総理検察器と 二百六十代に選すると、この限四

宮口世相の反映

民會長以下 滿人警察

過們有力者の寄附要望

乞食 さ四めて第十分所

奉天驛のサービス訓練

聖に於て女子出札方の製物域技能 ため二十七日午前九時平から點呼

奉天高女の 克己週間

は 日より党に週間さらて一週間を全は 検生徒、職員八百名は他々節彩な でのため部附する事を組合せたが、 さすが乙女の心を強くうち四月か ですが これを乗北地方の線に泣く発電 こうの小選の 野めたのを入れ、裏線に 東北飢饉寄附

二十七日午後一時四十分数はさにつた。後代古北日曜日本館以多数見深のため、後代古北日曜日以多数見深いたり、 察隊長更迭 瓦房店國境警

鐵嶺 官を毆打 下の邦人 に起つた不祥事

一段機能な極めるであらうさい際明さ相快つて本年談戦の衝

鞍山の防火宣傳

廿九日市民の注意喚起

合。同三十分點檢開始(人員 火演習 午前九時二十分陳員

は本年を以て創立第十五周年を選れていることは本年を以て創立第十五周年を選り記念式を同午後六時より記念式を同午後六時より記念式を同午後六時より記念が明明を選りません。 創立記念式

木一スを寄附 【錦州】

加 当を避費するとさしは下其筋へ 電動力に依る緩慢の製管に震る等の であるか、事業開始の上は日浦人 電動力に依る緩慢の製管に震る等の であるか、事業開始の上は日浦人 のの であるか、事業開始のとは日浦人 のの であるか、事業開始のとは日浦人 のの であるか、事業開始のとは日浦人 のの であるか。 のの とは日浦人 のの のの とは日浦人 のの とは日浦人 のの とは日浦人

彩票賣捌取締

兒童の赤心

出張所成る 鞍山市場會社

猩紅熱撲滅運動

鐵嶺で實行に移る

へ 証 五銭以内の離金を制めて居たが北分玉。「東北地方の災害に付減話し一人川敷」 遠陽小學校では登校心部 の金橋二十四周六十四条に変したのの金橋二十四月六十四条に変したとの金橋二十四月六十四条に変出したとのの金橋二十四月六十四条に変出したとのの金橋二十四月六十四条に変した。 間航行停止 司の經濟にな #

家庭顧問

酒亂の夏人に悩む女

とるべき道を御教示下さい

簡易榮養



お米、を磨ぐ

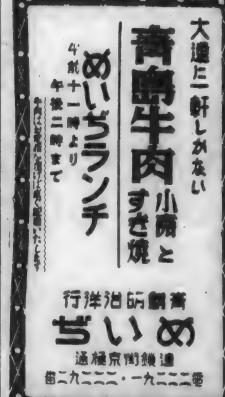


作界の革命車=メ フレーキ件

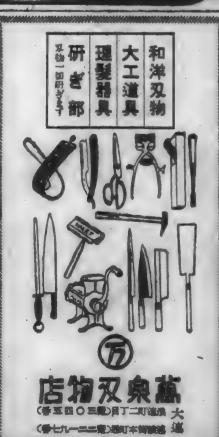




御菓子の御用命は 喜久屋 電人の六







出來てゐますか

早く準備しませう

でも一見して分り、わまり振じのリして発出す手で、これは飲ふ方りして発出す手で、これは飲ふ方

ので、いつをきうしたらと考へて ななな助けると即任して私のとる でき扱な御教示下さいませらり起

・ からばかり歌歌して赤神能ないは、さらの歌りはごそのかい。 さに自分の神歌のわけないといばい歌く解情せかに

スズワノワ」の二作 有は「皇後」)

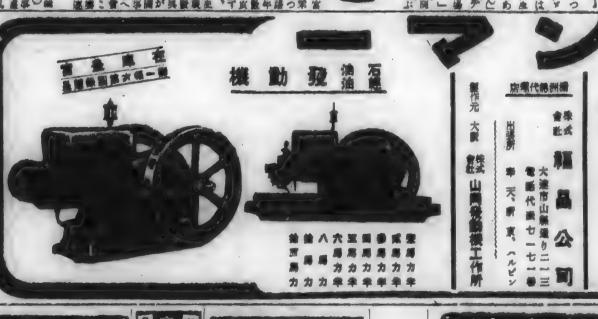
能、特に動脈の感謝化は動を失敗に代則ちトーキー以前には、文製作

映畵の音樂化 てが、事ぶべきものである。

文藝作品の映画化ご

上つた支が地の

「味は小歌歌」であ



需要家のみに直賣 三井

電田九三六

01111ほ/十1で分 011大ほ/十四の場合 011回な/大(24つ 011以は/十四の場合 011以は/十一で分

〇三大名ノ十三〇三大名ノ十三〇

加藤清一郎

大連市三河町尚電路 6297番

日本棋院大手合戰道明廿二局是相先先

三段 班中不二男

が戦績なもたらせたものさいつて、 美に搬る、職志が加剰されてこの

さいふやうなこさないふせ 斯くの

如く七年振りの一

22

はないひ得やう。とかとその様大原 はこして見楽せないものがある。 はこして見楽せないものがある。 はこして見楽せないものがある。

チオ

新京百キロ

(MTCY五六〇KC) 大・〇〇(東京より)ニュース 大・二〇(京城より)鴻濱「朝鮮 郷澤の展望」朝鮮銀行機繊和勝 平作曲、第六高學學校生徒有志平作曲、第六高學學校生徒有志明夢斯」(惟上)淨雅朔=清元 梅添太夫、清元宗校太夫、清元 梅添太夫、清元宗校太夫、清元

・ 三〇 (大阪より) 漢な節週間の(第一夜/第二の夜屋寺我物話)の(米一夜/第二の夜屋寺我物話)の 中項、 編集 、明日の素組の おこらせ (人・五〇 昼間/今福寺月」(頃) かこらせ (人・五〇 昼間/今福寺月」(頃)

本 天(水が成び)

一〇(東京より)ラデオ健康 五〇(東京より)ラデオ健康 日語)

・〇〇 粉製通報 ・〇〇 新製通報 城(JOOKC)

統隨時 加藤 かどや油は 病 踪

公示沿墳、ニユース、軽瀬市規(日輪報)

茂田波旭山

ら健康に轉向せより 勝を丈夫にして、

病我か

冬の

お

化粧

高新

近

しい化粧品フレックルクリーナーカンが減りリーナー

時 選 減、バスペツブ、小見科解毒 散騒 数 にん やか、たこの提出し、オートゲン、ネオスムーリン、ドラシン・デーリン、ドラシン・デーリン、ドラシン・デーリン、ドラシン・デーリン、ドラシン・ボール・ボール 語語が大心状態で

品

大連信濃町電新二二五一三 店

體育研究會に臨みて

二の戦回一第

(可認物便斯烈三郎)

形されて居るのである。 事要後如何に懸調すべきかさ、 別外の事項に割には解説に則々に 動像に混されたやうな内容な満 してないかさ思ふの 取職等に率

・ 近に教育の効果を載め得るの ・ 教育戦争を定復課職とたなら やうなこさはとま、教育戦争を定復課職とたなら やうなこさはとま

人因五 四一三 歩玉銀 ●五元 五二四五 金歩歩

本・三〇 ラデオ機嫌が 六・三〇 ラデオ機嫌が 八・三〇 (東京より) 経済市況 (九・四〇 経済市況 (金改市場) (本天より) 料理献立 (10・四〇 経済市況 (金改市場) (10・四〇 経済市況 (金改市場) (10・四〇 (本天より) (10・四〇 (本天より) (10・四〇 (本天より) (10・四〇 (本天より) (10・四〇 (本天より) (10・四〇 (10・回〇 (10・四〇 (10・回〇 (10・回○ (10・回〇 (10 HQ A

經濟市沢、ニ

七・五〇近新京日キロ

門を強く

人間活動の原動力・健康

素は阿勝にあ

像統**(後)()) 取締治療集効の方一度が網を殊に肺、ロケマク**

尊

The Manual Property of the Party of the Part

マニング

本備東京年品田繪畫

トラン

スの取換へ



クールコールドクリー

錶良優最之名馳球衰

GRANDS PRIX



ווער כר בי בי בי

生地に仕立てに必らず梅浦足 既総洋服臺宮取捕へました

不樂公會側 總流後數子六一採木公司 本年度總流後數は

順十二、三年認めるも従来の領より見て四分五順十五年に決定を鑑此能依依を表表する常で、市場では四分五厘十五年歌、四分三億東京特電二十八日豊国高級衛の総出ルで起佐市場は戦に明朗化

獨の二汽船會社

東方面を質地蔵祭せらめた、南

が今回 今年に入つてからは厳厳なドイツ 郷者の下には、職して産選都指さいふ、他つてゐるのである、のみならす 粉に織のへある、配して産選都指さいふ、他つてゐるのである、のみならす 粉に織の作頭者には歌哉ない。 は今に 常勢低添園よりの絵質に黙し遠歌 運都の指頭者には歌哉電エッスペレンは、他つてゐるのである、のみならす 粉に織のてゐる、配して産選都指さいふ。他つてゐるのである、のみならす 粉に織のてゐる、配して産選都指さいふ。他つてゐるのである、のみならす 粉に織のてゐる、配して産選都指さいふ。他つてゐるのである、紀答 運動、衛馬車巡論、一般運送、私

らきめてかいる必要

○神戸屋株式店

極東へ進出計畫

公會側は荷凭れ

關稅廢止で天津向けは有望化

滿鐵社債條件

四分半十五年か

長期工業融資に

東拓業務を擴張

日本商工會議所定期總會に

過渡辨法として提議

近く內交渉成立發表

結氷の安東木材界

支那政府が禁止

満洲向の銀輸出

の豫定だが同公司の秘事機場前に「て懲麼な解決が参考公司側は明年度は四十二萬段権の「の便採記書に置大き

附屬地、城內間

直接通話を實施

手敷料廢止も來

春から

質績擧らぬ

卸市場立賣制

仲買人が漁夫の利

依然熄まぬ銀流出に惱んで

廿七日附告示で發表

上海二十八日登回通」財政部では海外向銀の輸出に関しては平衡税、輸出税権銀方針を採つてその

海関秋務司 エー・シー・

出に對してこれた賦課す。平衡税率は毎日午前十一時中中央銀行へ通達する(九月十九日公布)制立す。とかしてロンドン銀塊の換算價さ中央銀行公定為特相場間の差額より上述の輸出税を控め解の命により民國二十三年十月十五日以降銀行公定為特相場間の差額より上述の輸出税を控政所の命により民國二十三年十月十五日以降銀元および造幣、銀條に對する輸出税はこれを一割さ図に海關告示一三八九號の內容左の如し

小 **澤子技信 場 1、次** 南京政府の満洲河銀の輸出禁止は既にさきの輸出税に對して関連における大洋の構成を物語るものであってこの傾向はますくく動者になるから知れない、支那の理地における大洋の構成を物語るものであってこの傾向はますくく動者になるから知れない、支那の理地における大洋の構成を物語るものであって、一次では、現に當地の大洋相場が品牌と演申九七田登に對してるから知れない。支配のは影響はあるまい、現に當地の大洋相場が品牌と演申九七田登に對してるか、五田登を唱へてゐるのは影響はあるまい、現に當地の大洋相場が品牌と演申入上間と「動者」という。

苹果解禁を控へ 全滿販賣統制機關 來月三日に創設總會

無空交番が一にがごいら か、つて配いのである。 が、でであるが一でである。 機関がないので流

なく、火寒が起きても印家流火 も出来の有機の も出来の有機の

爲替相場

『東京特電二十八日雲』日本蔵工一会議所定期機会は二十七日より

奉天

クララボウのフーブラ 大の江に対け雁 来 紅原作加藤武雄の傑作 来 紅

田倉倉倉倉

妻わか儀念病にて二十八日死去致したて養養相受候。 はて十一月三十日午後三時三十分途中行列を吸じ西本販売りでは、一月三十日午後三時三十分途中行列を吸じ西本販売して、一月三十月日死去致した。 のし

京で 京 で が が が 病 兄 海嗎 · 路 時 片 治療開始 地震を行うたいのである。

を設けて全場的に料金の等差な調査をは、電々では過級来調査機関を はないは、 はないは、 ないは、 はないは、 ないは、 な ル委員會附訴さなった、提案中で 関する保が緊急誘家さして協議と

はいため相手方の呼出しに長時間 とが、現在内壁地電話 の電話が関南なる悪行方法を考 がいため相手方の呼出しに長時間

た可決したが

月別 生產者 敬 人 均收入

共通の郵便切手

爲替は全部金建

+ceo日滿郵便條約

越株式店

大連市伊勢町四つ大連市伊勢町四つ

を持つ人々から

鐵西丁梁川區

| 「本 公 司 | 東京所作電人

『上海二十八日發』 常巻の頼に棺 を縮小したるも 瀬豊銀行が銀資金 本線行が標金及外を買び火中央銀 でのボンド買おりて反應し、買輪 行のボンド町が現金 上海標金 上海爲替情報

手形交換高(十八月) 全 「《虚杖 」六"表六" BOB回 廿九日二日間

Ħ 1 入院應需

外科般的職外科整形外科 加藤柳醫院

癮者

一圓より種々、一度御來店の程・・・只今新車多數入荷致しました。二十 一面より種々、 大連市西公園町九番地

並に附属品直輸入販賣各種自轉車直輸入販賣

學學 **选 谷 創 榮** 電話六五六五 入院隨時

西公園町春日小学校前 X線完備

肺尖

キツネ質け繋

大阪棉花

(投資の指針月三回一の日最行) (四六版二百五十百裝射華麗) (四六版二百五十百裝射華麗) (四六版二百五十百裝射華麗)

群英樓茶館

神戸期米

中度麻袋 電筋直積、三智比三分三 育筋直積、三智比三分三

□ 1月限 112.0 110.

定期隆合高(W-A) (副日對比較合印料) 大豆 五五〇九軍 一五八軍 高梁 九七九軍 一五八軍 百和二四一二千枚 九一千枚 豆和二四九〇百箱 二四百箱 豆粕生廠高 1000枚廿七軒

綿糸張保合

麻袋保合 品

八、九五〇枚 七、八八〇枚 七、二八〇枚

壁天井紙

一長 三 六 六 平 百 南三條連 尾商 ボ后

御申込次第 無料贈呈

合理的利殖法 殖やせよ 働かせ

今射越屋商店

名章 数作所

大宴會より簡單一品料理迄満洲一大北京料理、六百名の

王殿陽を斃す

東邊道治安の癌除か

薄氷張つた彌生ケ池

と危い。

い寒さて今年に入つてが、な切つて本格館の浦洲の冬が来た摩二分、内地や大連では、つゞくだらうさ、三気四濃の緩彫購から七時までの着濃は、ゐる、鄭鎮騰の騰徹でこれは常分

ある、高鉄際の服化でこれは電分れた関都の人悪な電び上がらせて は、 は、これに関都の人悪な電び上がらせて は、

震ひ上つた國都新京

入港の新人職兵さ共に上陸する事

官民合同の 映畵研究所

新京に設置さる

同時に奉天にも遂するここゝなり精食東京。で連絡する謙定である、東京、大連間のこの 談るもので、使用機は一時間至域二百五十キロ級のものな使用して一、八六〇キロな七及至連行ダイヤミは別に東京から大連へ特急旅客機な仕立て大阪以西は途中二着階位に止めて時 東京、大連間のこのスピー

歩を踏み出すべく色々計畫を進めてゐる **米年度早々** 戸川常務計畫を語る

職、教育映画の書及、浦州國事情 文教部・国書院・懐釈殿等は・映恋徹 文教部・国書院・懐釈殿等は・映恋徹 文教部・国書院・懐釈殿等は・映恋徹

泰風に惱む汽船 たこま、千歳の入港運延 世九日深更 上陸は卅日朝

権職合議の上官民合同の清洲映画一力支援が必要さされるので各職深

。籠の鳥、解放

遊廓の名稱を廢め

米春から娼妓を酌婦に

・ 一様日社前(集部で開催するが ・ 機動量な三條主候、二十九、三 ・ 機動量な三條主候、二十九、三

日

から

日滿交驩籠球試合

昨朝の氣温ナント零下二十度二

れた画都の人態な驚ひ上がらせて、り附近の子供達が総がつてッルッ月初めからの壁画能な腰かさにな、腰り始めた、待つてましたさばか、進度に地較するさ一度一分低く、したを禁に帰生ケ池に見事な光が、のの壁低温度、去年十一月の最低。てゐたが、この二、三日幾然態来

情報の弘禄、英文、宣傳三郎で苦 ボスター展 世界各國交通

和里、は影然能に私場野策一勝一般のわさな受けてあること

英靈洩れなく

靖國神社に合祀

・陸軍が事變犠牲者の全國的調査

禮

伊勢前淡逆南省

電配於近江

赤色公 業子 襲撃の

|東京特麗二十八日韓|| 議勝事襲|| と東大軍関号のタフリカルに残土を合動するため際戦|| 地以外の地にあつて事態公司を発売される。| とは影解のため死亡せるとのである。

とは疾病のため先亡せるもの事態 も戦人撃闘等の外事態地で戦闘者

やっていなったが

・ 系書と認められるものなどな言か を書と認められるものなどな言か

內勤數名 年前十八歲以上

布 一下上) ド銘 更

布座 ・大工) ド上銘 ン鉱

#=- \ # # = - \ # # = - \ #

(日九十二) 瞬度の西 最時一 (る上屋達) 洋

カメラ界。最高峰

皮ジャンパ

特價 裏付 一五・八〇 市價一九・五〇の品 (五十枚限 大特賣

蒲里」夜具杯だけは 一河屋流火地 實費寄宿舍完備 夜間部開設 十二月三日新學期 優一一瓶さ 人生募集 申込當日迄 三十町見伏



満人を教唆した 第一は他人高齢満行法を教唆 大連稅關吏

八替兵を慰問する

(新京電話) 日浦麻戦の影響では線動戦で散発を 都会地で過ごさんさ資々(歌人もつ) おもる形跡があるので新京警司波 いある形跡があるので新京警司波

第子・良料品用 第一時 編品 第一時 編品

國

境

9

ル流行歌

檀上商店

西痛にセロシン(聖路心)日本は薬局

派込む匪賊

背

文は御騰踏なく今の中にどうぞ。直ぐ

新京で捕はる

ロフア

透明紙

動を解棄し常低委

満佛の握手 國際場裡に踏出す ◆滿洲電々會社

在一杯に満佛麻園歌府の飛電によ 本格里々歌と瞬間歌府の飛歌を得 を表するので本

明裕一月上旬その一都の墨内底明裕一月上旬その一都の墨内底

張 續 轉 院學裁洋

上海のコート開き

移連

於**長崎鹿兒島行** コートが完成するのでコート開き 来たが日本監査解析では人感の部 来たが日本監査解析では人感の部 来たが日本監査解析では人感の部

日本郵船大連出張

是せて東工場の親方になるとい な恋いてゐる。

大商保護者會 發會式舉行

東野な保護者館のないのを追認され来十八回も卒業生を記者に送り 以来十八回も卒業生を記者に送り 以来十八回も卒業生を記者に送り をしては「那は山地」ので が「双」に歌り吹くつもりらし が「双」に歌り吹くつもりらし が「双」に歌り吹くつもりらし

射來ケース・ザイススクリン付 特殊距離計レンズ距離聯動装置付 テツサード3・5 付

(西蘇蒂西)

春にお召しのものは 工場は日に日に忙がしくなり、 すぐに御注文を 生地も嶄新な

ものが陸續と出て参ります、新春用背廣御途

0

服 + 0 = 0

店

